

令和2年度
北九州市社会福祉ボランティア大学校
事業報告書

目次

1	事業の総括	1
2	研修実施状況一覧	2
3	研修実施内容	
	(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
	○ まちづくりセミナー	6～7
	○ ふくしのまちづくり講座	8～35
	(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
	① 入門者	
	○ 福祉有償運送運転協力者研修	36～43
	○ 傾聴ボランティア養成講座	44～45
	○ 私にもできる災害ボランティア入門講座(「災害ボランティア」入門講座)	46～47
	○ 生活支援活動の担い手養成講座	48～51
	② 活動者	
	○ 送迎ボランティア・フォローアップ研修	52～53
	○ 傾聴ボランティア・フォローアップ研修	54～55
	○ 災害ボランティア・フォローアップ研修	56～57
	③ リーダー	
	○ ボランティアリーダー研修	58～59
	(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成	
	① 新任者	
	○ 新任福祉協力員等研修	60～77
	② 現任者	
	○ 現任福祉協力員研修	78～91
	○ 地域福祉活動専門研修	92～93
	③ 役員	
	○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	94～97
	○ 校(地)区社協新任役員研修	98～99
	○ まちづくりゼミナール	100～101
	(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成	
	○ 企業の社会貢献活動セミナー	102～103
	○ 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	104～105
	(5) ボランティア・市民活動支援者の育成	
	○ ボランティアコーディネーター研修	106～109

1 事業の総括

北九州市社会福祉ボランティア大学校では、「北九州市地域福祉計画」や「北九州市地域福祉活動第五次計画～住民ふくしの元気プラン～」を効果的に推進させるため、民生委員児童委員協議会や社会福祉施設等と連携しながら、高齢者、生活困窮者、認知症のある人、引きこもり等の課題を抱えた人たちを支援するために、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材の養成・育成を目指し、研修の充実を図りました。

今年度も、重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地)区主導のもとに地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を進めていき、地域住民による「地域単位での生活支援力」を高める研修を実施しました。

また、前年度この講座を修了した8箇所での後の状況を確認すると、新たな地域活動参加者として133人が報告されるなど研修成果も見えてきました。

今年度から区域展開とし、門司区・若松区で実施した「生活支援活動の担い手養成講座」では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、先進校区の活動報告を参考にして、活動者の校(地)区での活動を検討し、学ぶ生きた研修を提供しました。

研修全般では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上に務めながら、関係機関・団体との連携のもと、延べ2,174人に対し研修を実施することができました。

また、昨年度実施した「北九州市内の企業における社会貢献活動に関するアンケート調査」の結果を検証・活用し、セミナーを通じて企業の社会貢献活動と地域や様々な団体との連携の有用性を伝え、今後の活動に向けた支援を行ないました。

さらに、今年度は新型コロナウイルス感染症対応として、感染予防対策を万全に行うと共に、ICTを活用し、「企業の社会貢献活動セミナー」をはじめとした3つの研修をオンラインで実施しました。

今後も、地域共生社会の実現に向けた取り組みを推進していくため、活動に取り組みやすい環境づくりや研修を通じた課題の整理などを、新しい生活様式に合わせ、ICTを活用しながら、事業を推進してまいります。

2 研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- まちづくりセミナー 詳細 No.1
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.2～15

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	118	9～10
ふくしのまちづくり講座	校区住民	16	2～4	28	860	7～3
計		17	—	33	978	—

※ふくしのまちづくり講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4校(地)区4回分を次年度に延期

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

① 入門者

- 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.16～19
- 傾聴ボランティア養成講座 詳細 No.20
- 私にもできる災害ボランティア入門講座(「災害ボランティア」入門講座) 詳細 No.21
- 生活支援活動の担い手養成講座 詳細 No.22～23

② 活動者

- 送迎ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.24
- 傾聴ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.25
- 災害ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.26

③ リーダー

- ボランティアリーダー研修 詳細 No.27

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転を希望する者	2 (1・2回合同開催)	2	4	64 (うちセダ ン型3人)	11～3
	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	2	2	66	8
	私にもできる災害ボランティア入門講座 (「災害ボランティア」入門講座)	市民	1	1	1	34	11
	生活支援活動の担い手養成講座	市民	2	1	2	26	10～11
活動者	送迎ボランティア・フォローアップ研修	送迎ボランティア	1	1	1	16	9
	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	31	9
	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害ボランティア入門講座受講者等	1	1	1	31	11
リーダー	ボランティアリーダー研修	リーダー 次期リーダー	1	1	1	15	10
計			10	—	13	283	—

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

- ① 新任者
 - 新任福祉協力員等研修 詳細 No.28～37
- ② 現任者
 - 現任福祉協力員研修 詳細 No.38～44
 - 地域福祉活動専門研修 詳細 No.45
- ③ 役員
 - 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 詳細 No.46
 - 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 詳細 No.47
 - まちづくりゼミナール 詳細 No.48

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	10	1	10	193	8～11
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	176	10～3
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社協の実務者	1	1	1	100	11
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社協役員	2	1	2	205	10
	校(地)区社協新任役員研修	校(地)区社協新任役員	1	1	1	70	11
	まちづくりゼミナール	校(地)区社協・まち協役員、民生委員等	1	3	3	82	9～11
計			22	—	24	826	—

(4) 企業・社会福祉法人におけるボランティア・市民活動者の育成

- 企業の社会貢献活動セミナー 詳細 No.49
- 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 詳細 No.50

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	22	2	
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー(オンライン開催)	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	27	3	
計			2	2	2	49	—

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

○ ボランティアコーディネート研修

詳細 No.51～52

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
ボランティア コーディネート研修 (2回のうちオンライン開催1回)	施設・団体等でボラン ティアコーディネー ションに関わる職員	2	1	2	38	10～3

3 調査・研究・広報

(1) 広報紙・パンフレット・事業報告書の作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『北九州市社協だより』掲載)	172,000部	令和2年5月1日・8月1日 11月1日・令和3年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	令和2年4月2日
北九州市内の企業における社会貢献活動に 関するアンケート調査報告書	HP掲載	令和2年4月22日
令和元年度事業報告書	HP掲載	令和2年7月28日

4 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成28年度	8	26	886
平成29年度	12	39	1,208
平成30年度	12	36	1,216
令和元年度	13	34	1,152
令和2年度	17	33	978

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成28年度	9	14	263
平成29年度	12	16	340
平成30年度	11	15	346
令和元年度	10	14	365
令和2年度	10	13	283

(3) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 28 年度	19	23	1,217
平成 29 年度	19	21	1,185
平成 30 年度	19	21	1,354
令和元年度	19	21	1,363
令和 2 年度	22	24	826

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 28 年度	1	1	102
平成 29 年度	2	2	69
平成 30 年度	2	2	45
令和元年度	1	1	20
令和 2 年度	2	2	49

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 28 年度	1	2	38
平成 29 年度	1	1	32
平成 30 年度	2	2	37
令和元年度	2	2	33
令和 2 年度	2	2	38

(6) 延べ研修参加人数

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 28 年度	38	66	2,506
平成 29 年度	47	80	2,900
平成 30 年度	46	76	2,998
令和元年度	45	72	2,933
令和 2 年度	53	74	2,174

令和2年度 まちづくりセミナー 実施要領

「あたたかい街づくり、人づくり」
～おもいやりと優しさで人も街も成長する～

- 1 趣 旨** 奉仕の心、おもいやりの心。あなたが持っているボランティアの心。でも行動に移せていますか？勇気がでない。よくわからない。はずかしい。自信がない。いろんな思いが交差するなか、あなたの一言で救われる心があります。
この講座は、あなたに合ったボランティアを探し、学び、共感しながら、人と街を育てる講座です。まずは、あなたが一步踏み出してみませんか。「なにかお手伝いしましょうか？」あなたの優しい心が人も街も元気にします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 令和2年9月12日、19日、26日、10月3日、10月10日
土曜日（全5回）（10：00～12：00）
- 4 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 5 対象者** テーマに関心のある方 30名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 6 受講料** 700円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）

7 研修内容

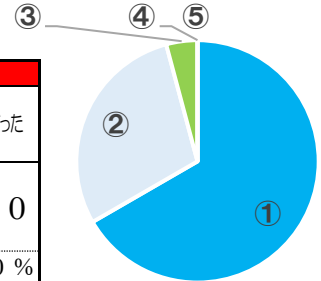
回数	内 容	講 師 等
①	障害者の方への少しの配慮 ～車いす利用者への理解、 視覚に障害がある人への理解など	北九州市立東部障害者福祉会館 館長 森 聖子
②	みんなで育てよう。子どもの笑顔 ～子どもに優しい街づくり	北九州市立大学 文学部 人間関係学科 准教授 山下 智也
③	突然の災害！あなたは何ができる？ ～ちょっとしたおもいやりの心	特定非営利活動法人 KID's work 代表 大久保 大助
④	地域への気づかい、心くばり ～施設などを訪問する傾聴ボランティア	北九州市傾聴ボランティアひだまりの樹 代表 毛利 暁子
⑤	少しの優しさ、大きなつながり ～おもいやりが街を元気にする	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	28人	25人	118人	64.71才		5日	10日
	16・17	78.4%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかとい うと満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	25件	満足 できたか?	16	7	1	0	0
	100.0%		64.0%	28.0%	4.0%	0%	0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修内容を拝見して、民生委員として活動するための心得として必要と思った。 ■ 大変楽しく、そして大切なことを学ばせて頂きました。子どものやさしいまちを作るために、私も何かを具体的にやらなければと思った。 ■ 災害とは何か災害時の行動の取り方がよく理解できた。 ■ 現在ボランティア活動をして行く中で、少し悩んでいた事があり、立ち止まっていたが、4人の講義の中に答えを頂く事ができた。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為6月から9月に延期して開催した。 ■ グループワークを控え、密にならない様に、内容や座席も工夫した。 ■ 受講生同士のコミュニケーションは取りづらかったが、A4のホワイトボードを使い講師が参加者の意見を引き出しながら、共有していた。 ■ 4人の講師をお迎えし、自分にあったボランティアを探すために専門家の意見を聞いた最後の5回目は、4回分の振り返りをしながら、ボランティアについて考えた。ボランティアをやってみたい。再確認できた。など、前向きな意見が多かった。
--------------------	---

■ 研修風景



障害者の方への少しの配慮①

みんな育てよう。子どもの笑顔②

突然の災害。なたは何かができる③

地域への気づかい、心ほほり④

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・大積校区、柄杓田校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
大積校区・柄杓田校区では、講座を通して、参加者が、ふくしのまちづくり計画や地域での取り組みへのやりがい・楽しみ方などを知ることがを目的としています。
- 2 実施主体** 大積校区社会福祉協議会、柄杓田校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 東郷市民センター（門司区黒川西1丁目3番26号）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方、計画づくりに参画する活動者
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「未来の大積校区・柄杓田校区について考えよう！」

7 研修日程・内容

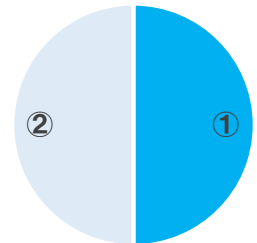
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 7日 (水)	18:00 ～	開 会・オリエンテーション	大積校区社会福祉協議会
	18:00 ～ 20:00	講 義 目からウロコのまちづくり ～豊かな発想で地域を明るく元気に～	株式会社まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏
二日目 R3 延期	13:30 ～ 15:30	報告会 お隣さんの計画を聞いてみよう！ ～基本計画体系図の特徴と 重点実施項目～	大積校区社会福祉協議会 会 長 小田 穂積 柄杓田校区社会福祉協議会 会 長 上野 誠司 【アドバイザー】
	～ 15:30	閉 会	柄杓田校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	— 人	25 人	— 才		1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか というと 有意義だ	どちらか もない	あまり参考 にならない	全く 参考にならない
	件	満足 できたか?					
	%		%	%	%	%	%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目からウロコの研修でした。発想の転換で、自分になにができるか、少しずつすすめていきたいです。 ■ 少しのアイデアをみんなで広げるすばらしさがわかりました。
	■
	■
	■

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小地域福祉活動計画を計画している校区にまちづくりについての研修を行った。視点を変えて、楽しく笑顔で生活ができる住みやすいまちづくりについて学んだ。 ■ 2回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次年度に延期。
--------------------	---

■ 研修風景

大積校区会長		今泉 重敏 講師	

— 令和元年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・大里東校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進め、校区の福祉課題への対応力の向上や、新たな協力者の発掘など、安心・安全なまちづくりに向け、校区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
大里東校区では、校区の喫緊の課題である生活支援や災害時の福祉救援体制づくりをテーマに、参加者が自らのまちの強みや課題を知り、今後の取り組みについて考え、活動をさらに充実させることを 目的に、講座を開催します。
さらに、実際の取り組みを通じ、地域でともに活躍できる仲間を増やすきっかけづくりやノウハウを習得することを目指します。
- 2 実施主体** 大里東校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 大里東市民センター（門司区下二十町3-7）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなでつくる安心・安全な大里東のまちづくり」

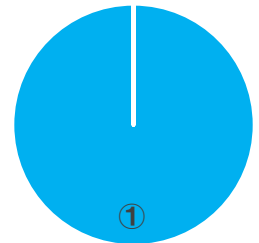
日 程		内 容	講 師 等
一日目	10:00 ～	開 会・オリエンテーション	大里東校区社会福祉協議会
1月 20日 (月)	10:00 ～ 12:00	視察研修 「お互い様のしくみづくり」 —若松区高須地区の生活支援活動—	若松区高須地区社協 会長 香月 英彦 地域生活支援相談員
二日目 R2年 11月 26日 (木)	10:00 ～ 12:00	住民福祉講座 「災害に強いまちづくり」 —平成30年7月豪雨災害体験報告会—	【コーディネーター】 社会福祉ボランティア大学 校長 久塚 純一 【パネラー】 大里東3・4・5丁目町内会 会長 熊谷 照彦 大里東市民センター 館長 酒井 孝子 社会福祉法人 孝徳会 軽費老人ホーム やはず荘 施設長 遠藤 茂俊
※コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 拡 大 の た め 令 和 2 年 度 ハ 延 期 実施済		閉 会	大里東校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	14 人	28 人	— 才			2 日	4 時間
	—・—	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	14 件	満足 できたか?	14				
	100.0 %		100.0 %	%	%	%	%



主な意見	■ 大変有意義な話をありがとうございました。今日の話を活かして町づくりをしていきたいと思います。
	■ 非常に勉強になった。校区に持ち帰り検討したい。
	■ 実例をあげて話をしていただいたので、理解しやすかった。日頃から防災に注意しておく必要がある。
	■ 常日頃から、「避難場所を決めておくことが大切である」との意味が理解できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は生活支援相談員を立ち上げる計画をしているので、他地区の活動を聞きに行った。とても参考になったとの意見が多く、今後の地域活動に活かせる視察となった。
	■ 2回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度の11月に開催した。平成30年7月の豪雨災害体験報告会を、会長や施設長などそれぞれの立場から、話し、地域が自主的に安全なまちづくりに取り組む住民意識の向上につながった。

■ 研修風景

大里東校区会長		高須ちよこさんと応援タイ活動説明	
災害に強いまちづくり①		災害に強いまちづくり②	

— 令和2年度 —

到津校区 ふくしのまちづくり講座 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉力を高めるために、校(地)区社協と市社協が協働で開催し、地域の福祉課題の解決や新たな人材の発掘などを旨とする住民講座です。
 到津校区では、これまでのふれあいネットワーク活動の取り組みと昨年度実施した「みんな de Bousai まちづくり推進事業」をベースに、「ふくしで取り組む防災」をテーマに、あらためて地域のことやそこに住む人たちを見つめなおし、「いざという時のために今できること」をみんな考えていきます。
- 2 実施主体** 到津校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立こども文化会館 児童劇場（小倉北区下到津4-3-2）到津市民センター 会議室等
- 4 対 象 者** 到津校区社協活動者、町内会関係者、民生委員、福祉協力員など
- 5 テ ー マ** 防災は**ふ**だんの**く**ら**し**から
 ～ いざという時のために今できること ～
- 6 研修日程・内容**

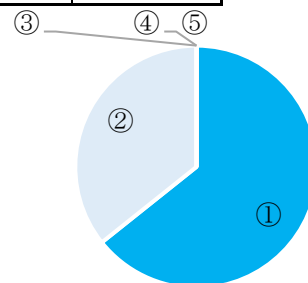
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 10日 (木)	19:00 ～	開 会	到津校区社会福祉協議会 会長 村上 嗣英
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 小倉北区事務所
	19:10 ～ 21:00	災害について知ろう！ ～他都市に学ぶ地域の防災力～ 到津を知るための 『作戦会議 ①』	
二日目 11月 12日 (木)	19:00 ～ 21:00	到津をもっと知るための 『作戦会議 ②』 (グループワークなど)	北九州市立大学 基盤教育センター ひびきの分室 准教授 修士(教育学) 危機管理士 村江 史年
三日目 R3 3月 18日 (木)	19:00 ～ 21:00	到津をもっと良くするための 『作戦会議 ③』 ～支え合いのまちづくりに向けて 今からできることを考えよう～	
	21:00	閉 会	到津校区社会福祉協議会 会長 村上 嗣英

■ 実施状況

受講者	申込者数 (男・女)	出席者数 (出席率)	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	— 人	40 人 — %	130 人	— 才		延 3 日	延 6 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	26 件 65 %	満足 できたか?	9 34.6%	14 53.9%	0 0%	1 3.8 %	0 0 %



主な意見	■ 到津地域にもとり入れられる項目があればとり入れ、防災力を高めていければいいのでは。
	■ どこに高齢者が多いのか知ることが出来た。訪問して、足腰がいか把握できた。災害が起きたらどうしたらいいか考えることが出来た。マンションは浸水時、上の階に避難する。
	■ 訓練や研修は何回やってもいざという時にどこまで役立つか？問題。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の研修では、新型コロナウイルス感染症対応のため、中止となった敬老会の記念品配りに福祉協力員も同行し、高齢者との顔合わせを行った。その時の感想や気づきを共有するとともに、要支援者マップづくりを行い、災害への対応を検討するところまで行った。延期で開催間隔が空いたのが残念だった。
--------------------	---

■ 研修風景

「開会」		「災害について知ろう！ 他都市に学ぶ地域の防災力」	
「到津を知るための作戦会議①」		「到津を知るための作戦会議②～支えのりの手がかりを向かいながら～」	

— 令和2年度 —

西小倉校区 ふくしのまちづくり講座 実施要領

- 1 趣旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉力を高めるために、校(地区)社協と市社協が協働で開催し、地域の福祉課題の解決や新たな人材の発掘などを旨とする住民講座です。
西小倉校区では、日常生活の困りごとを地域のみんなで支え合うしくみづくり「地域生活支援活動推進事業」の導入を目指し、さらにこれまで取り組んできたふれあいネットワーク活動の再構築を図ることで、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを進めていきます。
- 2 実施主体** 西小倉校区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会場** 北九州市立生涯学習総合センター 3階 ホール
(小倉北区大門1丁目6-43)
- 4 対象者** 西小倉校区社協活動者、民生委員、福祉協力員、町内会関係者等
- 5 テーマ** わたしたちのまち
西小倉校区の「見守り・助け合い・話し合い」のしくみ
～ みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり ～
- 6 研修日程・内容**

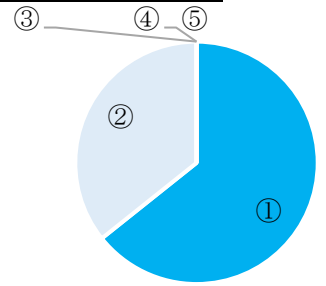
日程		内 容	講 師 等
一日目 3月12日 (金)	10:00 ～	開 会	西小倉校区社会福祉協議会 会長 日高 徹
		オリエンテーション	西小倉校区社会福祉協議会 事務局
	10:10 ～ 12:00	見守り・助け合い・話し合いのしくみ ～ふれあいネットワーク活動とは?～	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 小倉北区事務所 主事 古島 奈央子 地域支援コーディネーター 工藤 恵子
二日目 3月29日 (月)	10:00 ～	日常生活の困りごとを地域のみんなで支え合う! ～地域生活支援活動推進事業とは?～ 先進地区の事例に学ぶ 「高須地区社協の生活支援活動!」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課 主事 村田 健吾 高須地区社会福祉協議会 会長 香月 英彦 生活支援相談員 山口 保浩 山本 直子
	11:50 ～ 12:00	閉 会	西小倉校区社会福祉協議会 会長 日高 徹

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	35 人	66 人	— 才		2 日	4 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	29 件	満足 できたか?	18	9	2	0	0
	82.9 %		62.1%	31.0%	6.9%	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域生活支援活動推進事業について、事業の目的、意義を学ぶことができ、今後の地域活動の在り方を考えるアドバイスを頂くと感謝している。 ■ 高齢化社会を迎えて一人暮らしの高齢者が増える中で困り事の支援は必要。 ■ 生活支援をする側、される側の相互の認識が必要と考える。サロンの活用も重要！！ ■ 困り事といっても、なかなか他人に言えない、言わない方が多いと思う。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今回の研修では、新型コロナウイルス感染症対応のため、開催日程の延期、再調整対応の中、校区での地域生活支援活動推進事業の実施前の研修も兼ねてふくしのまちづくり講座を開催した。みんなで支え合うしくみづくりについて、住民自身が考えるよい機会となった。
--------------------	--

■ 研修風景

「開会」		「見守り・助け合い・話し合いのしくみ ふれあいネットワーク活動とは」	
「日常生活の困りごとを地域の人みんなで支え合う〜地域生活支援活動推進事業とは〜」		「先進地区の事例に学ぶ『高須地区社協 の生活支援活動』」	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・徳力校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
 徳力校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 徳力校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 徳力市民センター（小倉南区南方2-5-37）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「逃げ友をつくろう！もしもの時、あなたはいつ避難する？」
- 7 研修日程・内容**

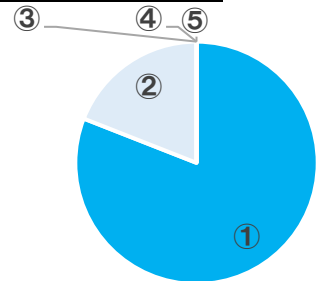
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 13日 (火)	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	徳力校区社会福祉協議会
	19:10 ～ 20:30	「徳力のここが心配！」 ～防災・減災の目で 徳力校区を見てみよう～	
二日目 11月 10日 (火)	19:00 ～ 20:30	「逃げ友をつくろう！」 ～災害が起こった時、あなたは いつ だれとどこに逃げますか～	防災ファシリテーター 古野 陽一
三日目 12月 8日 (火)	19:00 ～ 20:30	「つくってみよう！」 徳力版「防災マニュアル」	
	～ 20:30	閉 会	徳力校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	26 人	80 人	— 才		3 日	5 時間
	—・—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	21 件 80.8 %	満足 できたか?	17 81.0 %	4 19.0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 地域ごとの危険箇所が具体的に例示され、防災が身近な問題である事が実感できた。
	■ 防災の大切さを感じた。町内で対応を考えていきたい。
	■ 自分の町内で話し合いの場をもつようにしたい。
	■ 防災隣組の意識がなかった為、考え方等、参考になった。
	■ 町内の現状を考えるきっかけになった。連絡網が作りにくい現状だが（個人情報を教えてくれない）これが災害時、避難する手立ての上位だと感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ まち歩きでの危険箇所の確認は、改めて住民が町内の現状を知り、考える機会となり研修にも大いに活かされたので、効果的だと言える。
	■ 地域別の話し合いは、危険箇所の共有、近隣の人とのコミュニケーションにも繋がり、地域全体の防災意識が高まったと感じた。

■ 研修風景

関云挨拶		「徳力のここが心配！」	
「逃げ友をつくらう！」		「つくってみよう！」 徳力版 防災マニュアル	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・田原校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
 田原校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 田原校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 田原市民センター（小倉南区田原3-16-31）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「認知症につよいまちづくり」
- 7 研修日程・内容**

日 程		内 容	講 師 等
一日目 3月 16日 (火)	18:30 ～	開 会・オリエンテーション	田原校区社会福祉協議会
	18:35 ～ 20:00	「認知症に強いまちづくり」 ～コロナ禍での認知症の 現状中心に施設等での活動～	有限会社 時輪 地域密着事業部統括 石川 幸江
二日目 5月 18日 (火) 開 催 予 定	18:30 ～ 20:00	「災害への備え」 ～地域の現場での役割～	北九州市立大学 基盤教育センター ひびきの分室 准教授 危機管理士 村江 史年
	～ 20:00	閉 会	田原校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	—	20	—		1	2
	— 人	— 人	— 人	— 才		— 日	— 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	件	満足 できたか?					
	%		%	%	%	%	%

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ とても具体的で理解できた。予防の知識など全く知らなかったので参考にしたい。 ■ センターの認知症内容がよく分かった。家族とのつながりがとても良いなと思った。
	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2回で完結型とし、第2回は、5月18日に開催することとする。 <p>.....</p> <p>.....</p>
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		「認知症に強いまちづくり」	

— 令和元年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・志井校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 志井校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 志井市民センター（小倉南区大字志井279番地）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全3回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「地域の福祉課題・解決手法を学び、みんなで取り組もう」

7 研修日程・内容

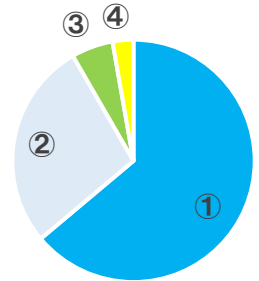
日 程		内 容	講 師 等
一日目 12月 6日 (金) 実施済	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	志井校区社会福祉協議会
	19:10 ～ 21:00	「志井校区の福祉課題を学ぼう！」 ～災害に対応する方策や 防災訓練から学ぶ～	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 村江 史年
二日目 1月 17日 (金) 実施済	19:00 ～ 21:00	「福祉課題の解決手法を学んで、 仲間を増やそう」 ～ふれあいネットワーク活動・ 福祉マップの役割～	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所 北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 村江 史年
三日目 R2 10月 23日 (金) R2 実施	19:00 ～ 20:30	「志井校区の福祉課題を学ぼう！②」 ～災害に対応する方策や 防災訓練から学ぶ～	北九州市立大学 基盤教育センター ひびきの分室 准教授 村江 史年
	20:30	閉 会	志井校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	—	139 (R2.59)	—		3	6
	— 人	— 人	人	才		日	日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	36 件	満足 できたか?	23	10	2	1	0
	61.0 %		63.9 %	27.8 %	5.6 %	2.8 %	0 %



主な意見	■ 同じ町内の方としっかり顔を合わせて意見を出し合い、1つのテーマに取り組むことができたため、有意義な時間だった。
	■ 昔に比べて、顔なじみになるきっかけが少ないので、これから何か始めていかないといけないと思った講座だった。
	■ 防災に対してどうしたらいいのかわからなかったため、今回の講座はわかりやすかった。特に志井第一町内会の資料がよかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ グループワークを中心に研修を進めて行く中で、校区全体の課題を共有することができ、今後の地域活動の発展に期待できると感じた。
	■ 3回目については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期となり、令和2年10月23日に実施され、防災のしくみづくりの重要性が新たなメンバーにも再認識される機会となった。

■ 研修風景

「開会」		「福祉課題の解決手法を学んで 仲間を増やそう」	
「志井校区の福祉課題を 学ぼう①」		「志井校区の福祉課題を 学ぼう②」	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座（若松区・二島校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
二島校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 二島校区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 東二島公民館(若松区東二島3丁目8-20)
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 楽しく！元気！二島家族！

7 研修日程・内容

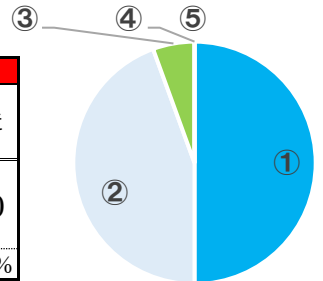
日 程		内 容	講 師 等
一日目 8月 21日 (金)	19:00 ～	開 会	二島校区社会福祉協議会 会 長 白土 博幸
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所
	19:10 ～ 20:00	元気の秘訣は地域活動にあり！ ～幸せな人間関係～	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中島 俊介
	20:10 ～ 21:00	「人生100年！ ずっと健康でいるために」 ～笑って楽しく！レクリエーション～	ちーむ・レク☆さす 代 表 尾中 美穂
二日目 9月 19日 (土)	10:00 ～ 12:00	認知症フレンドリー社会に向けて	北九州市認知症支援・介護予防センター 地域活動コーディネーター 中村 真理子
三日目 10月 3日 (土)	10:00 ～ 12:00	地域を取り巻く福祉概況と 社会福祉協議会の活動	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所
	～ 12:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	30	92	—		3	6
	— 人	— 人	— 人	— 才		— 日	— 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか 言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	18 件	満足 できたか?	8	10	0	0	0
	60.0 %		44.4 %	55.6 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 知らない事も沢山あり、これからのサロン活動に役立てていきたい。
	■ 地域の課題を抽出し、取り組むべき方向性が示されたことは大変有意義だった。あとは具体的に展開していくことが大切だと思う。
	■ 次世代育成についてのヒントをもらい、助かった。
	■ 高齢化が進み、自分自身の事も心配。災害時、病気時にすぐ連絡出来る様にしてほしいと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は、体操なども取り入れ、飽きさせない研修だったが、2回目、3回目は講話を聴く中心の2時間だったので、時間短縮や体を動かす事を取り入れ、受講者の負担にならないよう配慮していきたい。
--------------------	--

■ 研修風景

開会挨拶		元気の秘訣は地域活動にあり！	
認知症フレンドリー社会に向けて		地域を取り巻く福祉概況と 社会福祉協議会の活動	

— 令和元年度 —

ふくしのまちづくり講座（若松区・若松地区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
若松地区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 若松地区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 昭和公民館（若松区老松1丁目6-17）1F大広間
定員30名程度
- 4 対象者** 地域にお住まいの方
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 「備えよう！災害は突然やってくる」
- 7 研修日程・内容** 令和2年2月4日(火)（実施済） 2月18日(火)（実施済）
10月6日(火)（変更） 10月20日(火)（追加）

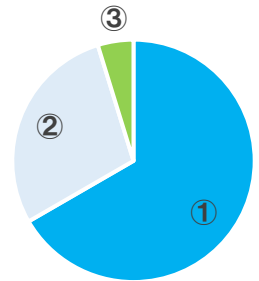
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 4日 (火) (実施済)	19:00 ～ 20:30	開 会・オリエンテーション 「知って安心、災害への備え」	若松地区社会福祉協議会
二日目 2月 18日 (火) (実施済)	19:00 ～ 20:30	「逃げるを考える！」 ～いつ？どこに？何が必要？～	特定非営利活動法人 KID's work 代表 大久保 大助
三日目 R2年 10月 6日 (火) (R2実施済)	19:00 ～ 20:30	「災害への備えを ふりかえろう！」	
四日目 R2年 10月 20日 (火) (R2年追加 実施済)	19:00 ～ 20:20	「作ってみよう！ 避難のマイルール」	
	～ 20:30	閉 会	若松地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 研 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	22	96	—		4	6
	— 人	— 人	— 人	— 才		— 日	— 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	22	満足 できたか?	14	6	1		
	100.0 %		63.6 %	27.3 %	4.5 %	%	%



主な意見	■ 一人、一人の災害の意識を変える必要があると強く感じました。行政だけでなく（人任せ）住民一人、一人が逃げる心がけもいること。連携がいることを学んだ。
	■ 地域での話し合いができて、再確認できとてもよかった。
	■ 地図上で避難場所までの移動ルートを検討でき、大変有意義であった。
	■ コロナ禍の中で避難のあり方、参考になった。
	■ 避難のタイミングや持参品に対する認識ができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 災害に対する意識づけを行い、それぞれの地区で危険個所の共有をした。みんなで話し合うことにより、防災意識が高まり、好評だった。
	■ 2回目まで開催したが、緊急事態宣言を受け、3回目は8ヶ月後の10月に再開。
	■ 3回目は危険個所が書き込まれた地図を共有し、最後はいつ、どこへ何を持って逃げるかマイルールを作成。意識付けに有意義な研修だった。

■ 研修風景

若松地区会長開催挨拶		逃げるを考える	
災害への備えを振り返ろう		作ってみよう。避難のマイルール	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・尾倉第二地区) 実施要領

1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。

尾倉第二地区では、地域活動者を対象にこれからの助け合い活動や認知症になっても安心して暮らせる地域づくりについて学びます。

2 実施主体 尾倉第二地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 会 場 尾倉市民センター（八幡東区尾倉1丁目15-2）

4 対象者 福祉協力員（町内会長）等

5 受講料 無料

6 タイトル 「尾倉第二地区の ふだんのくらしのしあわせ 講座」

7 研修日程・内容

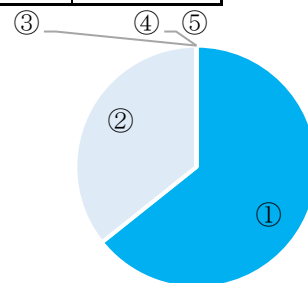
	日 程	内 容 ・ 講 師
第一回	令和2年 10月30日（金） 19:00～20:30	【開 会・オリエンテーション】 尾倉第二地区社会福祉協議会 【講演】 こんなときだから考えたい… 地域のつながり・支え合いについて 北九州市立大学 特任教員 勅使河原 航 氏
第二回	令和2年 11月27日（金） 19:00～20:30	【講演】 これからの社会のかたち 認知症フレンドリー社会 北九州市認知症支援・介護予防センター 地域活動コーディネーター中村 真理子 氏 【閉 会】 尾倉第二地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	24 人	50 人	— 才		2 日	3 時間
	—・—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	15 件	満足 できたか?	9	5	0	0	0
	62.5 %		60.0 %	33.3%	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 孤立死、8050 問題など身近に思う事ができました。地域活動が一部の人の集まりになりがち。もっと気楽に参加できる様になったら。
	■ 私の回りにも認知症の人がおられるので対応の仕方等、学ぶ機会が増えればよいと思う。
	■ いずれも自分も認知症になるのかと思うと少し淋しいような気もしますが、今日のお話を聞いてとても参考になりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 高齢者の多い地域のため、地域独自でも認知症に関する啓発・対応の研修を毎年開催しており、今回のふくしのまちづくり講座もその要望を受け開催した。独居の高齢者世帯への見守り時に認知症への理解と対応は必要であるため、今後も協働して取り組んでいきたい。
--------------------	---

■ 研修風景

「こんなときから考えたい・・・地域のつながり・支え合いについて」		「こんなときから考えたい・・・地域のつながり・支え合いについて」	
「関会（二回目）」		「これからの社会のかたち 認知症フレンドリー社会」	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・槻田第一地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
- 槻田第一地区では、福祉協力員や民生委員・児童委員を対象に近年多発する災害について理解を深めるとともに、避難が必要となった場合に備えて何をすべきかを参加者みんなで考えます。
- 2 実施主体** 槻田第一地区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 祝町市民センター（第1回のみ）、槻田市民センター（第2・3回）
- 4 対 象 者** 福祉協力員（町内会長）、民生委員・児童委員 等
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 「災害に強い地域づくりのための 目配り・気配り・思いやり講座」

7 研修日程・内容

	日 程	内 容	講 師 等
第 一 回	令和2年 11月24日(火) 19:30~20:30	【開会・オリエンテーション】	槻田第一地区 社会福祉協議会
		【講演】 平時に確認！災害のあれこれ	北九州市立大学 准教授 村江 史年 氏
第 二 回	令和3年 3月22日(月) 19:00~20:00 (1/18日程を緊急事態 宣言に伴い中止し2回 で終結)	【講演】 災害が起きたら？避難の話	北九州市立大学 准教授 村江 史年 氏
		【閉会】	槻田第一地区 社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	26 人	46 人	— 才		2 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	① 満足できた	② どちらか 言うと 満足できた	③ どちらとも 言えない	④ あまり満足 できなかった	⑤ 不満だった
	26 件	満足 できたか?	13 50 %	10 38.6%	1 3.8%	1 3.8%	0 0%
	100 %						

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ローリングストック法の話の中で「食べ慣れているものは心の支え」というフレーズが心に残った。確かにそうだと思うし、心の支えは、非常に大切だと思った。ありがとう。 地域の危険な所を再認識することができ、また、新たに知る情報なども多くあり、とても勉強になった。 普段意識していなかった事に気づかされた。
------	--

■ 事業点検

今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 今回の研修では、新型コロナウイルス感染症対応のため、当初1/18に予定していた第2回目の研修を3/22に延期し、3回企画であった研修を全2回に変更することとなった。しかし、地域住民の災害対策に対する強い意識は変わらず、研修時に表れており、次年度災害研修の要望も出ていた。 研修の成果が地域の継続した取り組みにつながった。
---------	---

■ 研修風景

「平時に確認！災害のあれこれ①」		「災害が起きたらどう避難の話」	
「災害が起きたらどう避難の話」		「災害が起きたらどう避難の話」	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・引野校区) 実施要領

1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。

引野校区では、講座を通して、ふれあいネットワーク活動の再整備を図り、他校(地)区の活動を参考にしながら、参加者全員でこれからの引野校区の活動の進め方について共有を図ることを目的としています。

2 実施主体 引野校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 会 場 引野市民センター 多目的ホール (八幡西区别所町9-1)

4 対 象 者 地域にお住まいの方 定員 40 名

5 受 講 料 無料

6 タイトル 「健康づくりで地域をつなぐ」

7 研修日程・内容

日 程		内 容	講 師 等
一日目	10:00 ～	開 会・オリエンテーション	引野校区社会福祉協議会
12月 1日 (火)	10:00 ～ 11:30	「その歩き方で健康になれますか？ プロに学ぶウォーキングとストレッチ」	北九州スポーツクラブ 連絡会 理事長・健康運動指導士 田村 香代子
二日目	10:00 ～	「歩くだけじゃもったいない、見つけよう 引野のまちの魅力～お散歩クラブと 一緒にLet'sウォーキング!～」	お散歩クラブ 代表 山本 英樹
12月 22日 (火)	11:30	「ふれあいネットワーク活動について」	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 主事 藤永 恭子
三日目 R3 3月 9日 (火)	13:30 ～ 15:00	「さあ、地域に飛び出そう！健康寿命、 プラス2歳！～元気の秘訣は地域活動に あり！幸せな人間関係～」	西南女学院大学保健福祉学部 教授 臨床心理士 中島 俊介
	15:00 ～	閉 会	引野校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	31 人	88 人	— 才			3 日	5 日
	—・—	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	27 件	満足 できたか?	25	1	0	0	0
	87.1 %		92.6 %	3.7 %	%	%	%

主な意見	■ TV などでもストレッチ体操をしていますが、実際に先生から指導を受けると本当にわかりやすく、納得できた。
	■ 健康のため今後もウォーキングを続けたいと思う。目標 100 才まで生きる。
	■ 二人の話はとても分かりやすく、引野の歴史もよく分かりよかった。みんなで歩くのも楽しく有意義な時間をありがとう。
	■ 毎日の生活で大いに活用して楽しい日々を過ごしたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新たな活動の担い手を獲得するために、市民センターのお散歩クラブのメンバーや
	■ 健康に関心のある地域住民中心に募集を行った。
	■ 自らの健康づくりと併せ、ウォーキングがてら地域の見守りを行う等提案し、活動者の獲得に繋げていきたい。

■ 研修風景

「開会式」		「その歩き方で健康になりますか？ プロに学ぶウォーキングをストレッチ」	
「歩くだけじゃもったいない、見つけよう引野のまちの魅力」お散歩クラブと一緒に「Let'sウォーキング」		「さあ地域に飛び出そう！健康寿命、プラス2歳！〜元気の秘訣は地域活動にあり〜幸せな人間関係〜」	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・本城校区) 実施要領

1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。

本城校区では、講座を通して、ふれあいネットワーク活動の再整備を図り、他校(地)区の活動を参考にしながら、参加者全員でこれからの本城校区の活動の進め方について共有を図ることを目的としています。

2 実施主体 本城校区・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 会 場 本城市民センター 多目的ホール (八幡西区本城1-15-1)

4 対 象 者 地域にお住まいの方 定員 40名

5 受 講 料 無料

6 タイトル 「本城発!! ひとづくり・まちづくり～私たちにできる安心・安全とは～」

7 研修日程・内容

日 程		内 容	講 師 等
一日目 12月 19日 (土)	13:30 ～	開 会・オリエンテーション	本城校区社会福祉協議会
	13:40 ～ 15:00	「突然の災害にあなたはどこまで 備えていますか？」	防災ファシリテーター 古野 陽一
	15:00 ～ 15:30	「クリスマス ハンドベル ミニコンサート」	折尾愛真短期大学 ハンドベルクワイヤー
二日目 令和3年 5月 日 () 実施予定 (緊急事態 宣言に伴い 延期)	13:30 ～ 13:45	「新春 琴の調べ (演奏会)」	NPO 法人 和楽啓明
	13:50 ～ 15:00	「平常時の備えが いざという時に役に立つ！」	防災ファシリテーター 古野 陽一
	15:10 ～ 15:25	「ふれあいネットワーク活動における福祉救援体制づくりとこれからの本城を考える」	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所
	～ 15:30	閉 会	本城校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	— 人	34 人	— 才		1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	あまり満足できなかった	不満だった
	件	満足できたか?					
	%		%	%	%	%	%

主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全国35カ所のSランクの活断層の1つが本城近辺を通っていることを初めて知った。 ■ コロナの時期、音色でとても癒された。

■ 事業点検

点検・講評	
(今後の取り組み)	

■ 研修風景

<p>「突然の災害にあなたはどこまで備えていますか？」</p>		<p>「クリスマスハンドベルミニコンサート」</p>	

— 令和2年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区）

大谷第一地区、大谷第二地区 実施要領

「地域の健康を守ろう」

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
大谷第一、大谷第二地区では、講座を通して、住民一人ひとりの安全で安心な暮らしを守るために、住民同士の交流をはかり、参加者全員でこれからの地域福祉活動の進め方について共有を図ることを目的としています。
- 2 実施主体** 大谷第一地区、大谷第二地区・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 大谷市民センター（戸畑区東大谷2丁目2-44）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 研修日程・内容**

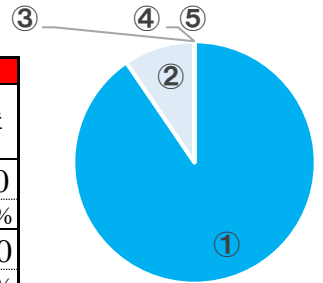
日 程		内 容	講 師 等
一日目 7月 25日 (土)	10:00 ～	開 会	大谷第一地区社会福祉協議会 会 長 檜山 弘之
		オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所
	10:20 ～ 11:20	腹式呼吸でリフレッシュ 「楽しく脳トレ・ストレッチ」	健康福祉運動指導者 トコ
	11:20 ～ 12:00	健康講演会について話そう	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所
二日目 8月 29日 (土)	10:00 ～	音楽のちから	音楽健康福祉士 菊池 一恵
	11:00 ～ 11:40	他地区の取り組みについて	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所
三日目 9月 26日 (土)	10:00 ～ 11:00	家庭で簡単 筋力UP	加圧トレーニング×美スタジオ- Lumineuses-ルミナス ゲンキクリエイターケイコ 藤崎恵子
	11:00 ～ 11:40	これからの大谷の健康づくりに ついて話そう	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所
	11:40	閉 会	大谷第二地区社会福祉協議会 会 長 佐藤 暎子

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)						
大谷第一地区	- 人	23 人	73 人	一 才	延	3	日	延 6 日
大谷第二地区	- 人	14 人	40 人					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	11 件 47.8 %		9 81.8 %	2 18.2 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %
大谷第一地区	11 件		10 90.9 %	1 9.1 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %
大谷第二地区	78.6 %						



主な意見	回答
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 心が洗われた。元気になった。気分が良くなった。 ■ 身体を動かす機会がなかったので、楽しく参加することができた。 ■ 身体と頭の体操になりました。 ■ それぞれが今からどうしたらと考える機会になってよかった。 ■ 他地区の取り組みは参考になりましたが、コロナ対策となるとまた難しいので考えさせられた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	回答
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前半は、簡単にできる体操をして身体と頭を動かした。後半は、コロナ禍の中、これから、どのような活動していくべきか話し合った。集会を中止していた中、久しぶりの地区の集まりで、笑顔で楽しそうにコミュニケーションをとっていた。 ■ 地域住民がこれからのことを考える良い機会になったと思う。

■ 研修風景

腹式呼吸でリフレッシュ		音楽のちから	
家庭で簡単 筋力UP		これからの大谷の健康づくりについて話そう	

— 令和2年度 第1・2回合同開催 —
福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
 このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 令和2年11月1日(日) 9:15~18:25
 クレカ若松（北九州市若松区赤岩町13-1）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
 ※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 30人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

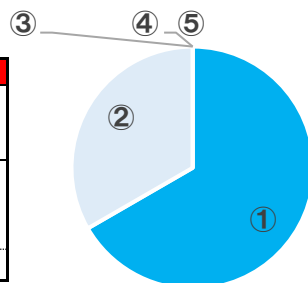
時間	内容		講師	研修会場	
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		市民ホール	
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一		
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応			
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ 永田 淳		
12:00~12:50	休憩				
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一		
13:45~14:45		介護技術			
14:50~15:50		基礎的な接客技術			
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師		第4駐車場
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)			
18:20~18:25	閉会	まとめ		市民ホール	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	39人 26・13	38人 97.4%	38人	46.2才		1日	10時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	35件 92.1%	満足 できたか?	22 62.9%	11 31.4%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ ドライブレコーダー映像を見ながらの講義が良かった。
	■ 法律（制度）の理解ができ、安全運転の大切さを再認識した。
	■ 緊急時の対応などあらためて勉強になった。
	■ 障害者に対する接し方、実際に体験しながらの講義が良かった。
	■ 実車を使った体験をすることで、福祉車両の特性と介護方法の難しさがわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、後倒しで開催可能な11月に1・2回の合同開催研修とし、定員を拡大して実施。49名の応募があり、市内福祉有償運送実施団体登録者を優先し、39名で行った。
	■ 実技では手袋、マスク、消毒を徹底させ、距離をとり、密にならない様心掛けた。

■ 研修風景

関係法令等 貞包 健一 氏		運転方法の講義 永田 淳氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法（演習）	

— 令和2年度 第1・2回合同開催 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 令和2年11月7日(土) 9:15~11:45
ウェルとばた（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 20人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

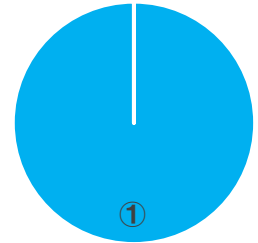
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・1 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・1 研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	2 人 2・0	2 人 100.0%	2 人	67.5 才			1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか いうと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	2 件 100.0%	満足 できたか?	2 100.0%	0 -	0 -	0 -	0 -



主な意見	■ 体験者（プロ）の話なので、いい話が聞けた
	■ 大変参考になり、ありがとうございました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症対応の為、後倒しで11月に1・2回の合同開催研修として実施。シルバーひまわりの登録者2名が受講した。
	■ 福祉車両ではない車の座席の高さ、ドアの開閉角度など、改めて認識した。 ■ セダン型の受講生は少ないが、参考になることが多いので周知を工夫したい。

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与式	

— 令和2年度 第3回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 令和3年3月21日(日) 9:15~18:25
クレカ若松（北九州市若松区赤岩町13-1）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 30人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

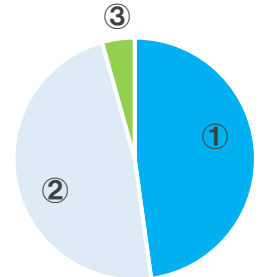
時間	内容		講師	研修会場	
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		市民ホール	
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一		
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応			
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ 永田 淳		
12:00~12:50	休憩				
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一		
13:45~14:45		介護技術			
14:50~15:50		基礎的な接客技術			
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師		第4駐車場
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)			
18:20~18:25	閉会	まとめ		市民ホール	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	29 人	23 人	23 人	51 才			1 日	10 時間
	26・13	97.4 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	満足だった
	23 件	満足 できたか?	11	11	1	0	0
	100.0 %		62.9 %	31.4 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドライブレコーダー映像を見ながらの講義が良かった。 ■ 道路運送法の内容を理解することができた。 ■ 車両によって特長が違うことや、利用者の方を実際にのせてからの走行で、気をつける点を実技の中で教えて頂けた。特にカーブの曲がり方など、後方の利用者の方に配慮しながら運転する事が大切という事を学んだ
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、定員 30 名として調整したが、体調不良の方が多く、6 名欠席した。朝から天気が悪く、風が強かった ■ コロナ対策で、換気など特に気をつけて研修を行った。 ■ 実技では手袋、マスク、消毒を徹底させ、距離をとり、密にならない様心掛けた。
--------------------	--

■ 研修風景

関係法令等 貞包 健一 氏		運転方法の講義 永田 淳 氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法 (演習)	

— 令和2年度 第3回開催 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 令和3年3月27日(土) 9:15~11:45
ウェルとばた（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※二種免許保持者、あるいは福祉有償運送運転協力者研修（福祉車両）修了者
- 5 定員** 30人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

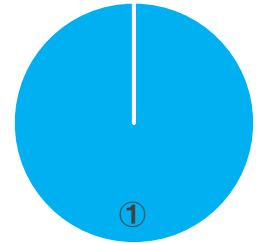
時間	内容		講師	研修会場
9:15~ 9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・1 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・1 研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	1 人 0・1	1 人 100.0%	1 人	51.0 才			1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	1 件 100.0%	満足 できたか?	1 100.0%	0 -	0 -	0 -	0 -



主な意見	■ 車イスの操作方法など参考になった
	■ 分かりやすかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 車イスの扱い方など、わかりやすく説明があった。
	■ 福祉車両ではない車の座席の高さ、ドアの開閉角度など、改めて認識した。
	■ セダン型の受講生は少ないが、参考になることが多いので周知を工夫したい。

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		修了証書授与式	

「傾聴ボランティア」養成講座 実施要領

- 1 目的** 単に話を「聞く」のではなく、心をこめて「聴く」ことで、人の心を癒すことができます。
本講座では「聞き上手」から「聴き上手」になるためのコツを学び、相手の心に寄り添うことの出来るボランティア活動をめざします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室, 12J・K 研修室（戸畑区汐井町1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 受講後の傾聴ボランティア活動に意欲的な方（定員40名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和2年8月5日（水）・6日（木）二日間

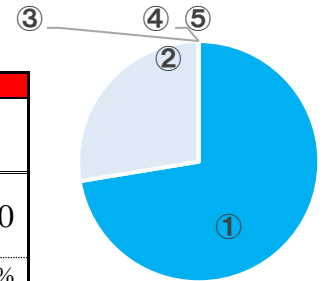
日時		内容		講師等
8月5日 (水)	09:00~	受付		
	09:30~	開講・オリエンテーション		北九州市社会福祉協議会
	09:40~ 10:00	基礎編	事業紹介 ボランティア活動について	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	10:00~ 12:00		「傾聴」とは	臨床心理士 シャルマ 直美
	12:00~		昼休み	
13:00~ 16:00	「傾聴」の実際を学ぼう			
8月6日 (木)	09:00~	受付		
	09:30~ 12:00	応用編	ロールプレイを通して 傾聴体験してみよう	臨床心理士 シャルマ 直美
	12:00~		昼休み	
	13:00~ 14:00	施設が求めるボランティアとは	あおぞらの里 徳力デイサービスセンター 相談員 増田 陽子	
	14:00~	休憩		
	14:15~ 15:00	傾聴ボランティア活動 《活動紹介》	傾聴ボランティアグループ	
	~15:00	閉講		北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	53 人	33 人	66 人	65.8 才		2 日	11 時間
	9・44	62.3%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言うと満足できた	どちらとも言えない	どちらかと言うと不満足	不満足
	31 件	満足 できたか?	21	8	0	0	0
	93.9%		67.7%	25.8%	0%	0%	0%



主な意見	■ 全く初めての受講だったので、基本を知ることができた。また、シャルマ先生のユーモア溢れるお話に引き込まれた。
	■ 施設の大変さの少しでもプラスになるようなボランティア活動が出来ればとの思いで受講でき、とても勉強になった。
	■ 傾聴ボランティアをさあやってみようという心構えができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ禍の研修で、手指消毒、マスク着用の徹底、受付時の検温、講義とワークの部屋別、ペアワークの際の飛沫防止シートなど、コロナ対策を念入りに行った。受講者からは、「2日間、安心して受講できた。」との声をいただいた。
	■ 講師についてボランティアを受け入れる施設側から招聘した講師の講座主旨の理解内容調整が事前に出来ておらず、受講者からの指摘も受けているため、事前の調整を徹底したい。

■ 研修風景

講義 ①		講義 ②	
グループワーク①		グループワーク②	

— 令和2年度 —

「災害ボランティア」入門講座 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。
 災害時の基礎知識や適切な対処活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。
 本講座では、まずさまざまな災害ボランティア活動をご紹介します。そして、その中から自分にあった活動を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 戸畑区役所 大会議室 (戸畑区千防1-1-1)
- 4 対象** 戸畑区ボランティア連絡協議会の方、及び、災害ボランティアに興味のある市民の方等【定員30名】
- 5 日時・内容** 令和2年11月18日(水)

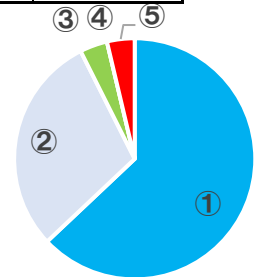
時間	内容	講師等
12:30~	受付	
13:00~	開会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会)
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:10~ 14:10	災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
14:10~ 14:20	休憩	
14:20~ 15:50	災害ボランティアセンターの役割と被災地の現状報告	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
~16:00	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	39人	34人	34人	74.2才		1日	3日
	6・33	87.2%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらか という その通り	どちらとも 言えない	どちらかと言うと そうでもない	全く そうでない
	28件	満足 できたか?	17	8	1	0	1
	82.4%		60.7%	28.6%	3.6%	0%	3.6%



主な意見	意見内容
	■ 災害ボランティアに参加したい気持ちはあっても、年齢的に体を動かすことが、無理な場合、どのような形で参加できるか、考えさせられました。
	■ 被災したことがないので、よくわからないことが多い。本日の講座を受けてよかったですと思う。多くの人に支えてもらっているのを感じた。
	■ 大変よかったです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	点検内容
	■ 戸畑区のボラ連を中心に開催した。事前に質問を募り、その答えを織り交ぜながら今年の災害やコロナ禍の中での状況の講義があり、大変好評だった。
	■ 活動推進課より災害ボランティアの基礎知識として、ボランティアのこと、災害ボランティアセンターと社協の役割などの講義があり、有意義だった。

■ 研修風景

開催挨拶 (川原事務所長)		活動推進課 小田課長	
九州防災パートナーズ 藤澤先生		修了証書授与式	

一 令和2年度 生活支援活動の担い手養成講座 実施要領一

求ム！地域の助っ人

～安心して暮らしていける地域のために～

- 1 趣 旨** 少子高齢化が進む現在、地域の中では、生活する上での、手助けを必要としている人が多くなっています。
本講座では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自分ができる範囲で日常生活の手助けをしてくださる方や「地域に役立つ活動をしたい」「ボランティアで地域貢献したい」など地域で活躍する方を養成し、応援する講座です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 門司区役所3階大会議室（門司区清滝1-1-1）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** テーマに関心のある方 20名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 無料
- 6 日 程 ・ 内 容** 令和2年11月13日（金）

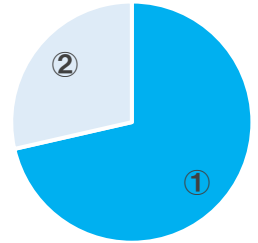
日 時	内 容	講師等	
11月 13日 (金)	9:00～	受 付	
	9:30～	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	9:40～ 10:20	門司区内の生活支援の ニーズについて	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 事務所長 宇都宮 慎吾
	10:20～ 10:50	・地域を紡ぐ支援活動 ～みなさんの地域とボランティア 活動を支援しています～ ・私のまちのボランティア活動	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 地域支援コーディネーター 竹之内 洋子・山中 薫 北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 ボランティアコーディネーター 小関 昭弘
	11:00～ 12:00	地域での取り組みを 聞いてみよう！	庄司校区社会福祉協議会 地域生活支援相談員 福本 須雅
	～12:00	まとめ・閉 講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	9 人	8 人	8 人	— 才			1 日	3 時間
	0・8	88.9 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	7 件 87.5 %	満足 できたか?	5 71.4 %	2 28.6 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 「社会福祉協議会」という大きなくくりでしか知りませんでしたが、詳細な活動内容や、実際に活動されている人の声を聞くことができました。少しずつ参加していければ、と思います。
	■ 他校区での取り組みが分かり、とても参考になりました。
	■ わかりやすい資料。お話しして頂きありがとうございました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 募集については、一般募集を市政だより区版告知や市民センター等のチラシ配架等を行う一方で区内活動者への周知・募集を行ったが、効果は薄く特に生活支援活動の担い手養成の言葉が重かったのか一般申込は2人であった。
	■ 次年度以降は区ボランティアセンターを活用した区域展開で開催したい。

■ 研修風景

「開会挨拶」		「地域を紡ぐボランティア活動」	
「私のまちのボランティア活動」		「地域での取り組みを聞いてみよう」	

— 令和2年度 —

気負わずできる、ご近所での助け合い応援講座 実施要領

～「生活支援活動の担い手」養成講座～

- 1 趣 旨** 少子高齢化が進む現在、高齢者やひとり親の世帯などでは、生活する上での、手助けを必要としている人が多くなっています。本講座では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自分ができる範囲で日常生活の手助けをしてくださる方や「地域に役立つ活動をしたい」「ボランティアで地域貢献したい」など地域で活躍する方を養成し、応援する講座です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 若松市民会館 小ホール(若松区本町3丁目13-1)
- 4 対 象 者** テーマに関心のある方 40名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無料
- 6 日程・内容** 令和2年10月28日(水)

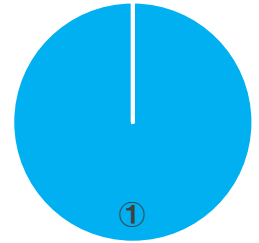
日 時	内 容	講師等	
10月28日 (水)	12:30～	受 付	
	13:00～	開 講・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	13:10～ 14:00	北九州市の現状について 生活支援活動の担い手とは	北九州市社会福祉協議会 若 松 区 事 務 所
	14:10～ 15:10	「世代各層の参加による地域活動のすすめ」	中井校区社会福祉協議会 会長 後藤 昭二 事務局長 赤峰 由美子
	休憩 (10分)		
	15:20～ 15:40	地域支援コーディネーター及び 若松区ボランティア・市民活動 センターとボランティア保険に ついて ～みなさんの地域とボランティ ア活動を支援しています～	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 前田 純志
	15:50～ 16:50	「社協活動に関心を持って頂く ための試み」 (20～30分程度) 質疑応答	青葉台地区社会福祉協議会 会長 茅嶋 かおる
～17:00	まとめ・閉 講	北九州市社会福祉協議会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	19 人	18 人	18 人	— 才			1 日	4 時間
	5・13	94.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	どちらか と言うと 不満だった	不満だった
	15 件 83.3 %	満足 できたか?	13 86.7 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	<p>■ 各地区（中井、青葉）の実情に沿った課題に真剣に向き合い、取り組んでおられることが伝わってきました。わが地域もこれから更なる地域福祉課題について、地域団体と連携を深めながら、解決していくよう協力していきたいと思いました。</p> <p>■ 参考になる点がありましたので、今後の活動に生かされればと思います。</p>
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<p>■ 若松区においては、新任役員に担い手としての意識付けをしたい。また、先進校区の発表では活動者不足の悩み解消のヒントになるところを希望という意向を組んで開催した。</p> <p>■ 次年度以降は区ボランティアセンターを活用した区域展開で開催したい。</p>
--------------------	---

■ 研修風景

「開会」		「生活支援活動の担い手とは」	
「世代各層の参加による 地域活動のすすめ」		「社協活動に関心を持って いただくための試み」	

— 令和2年度 —

送迎ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 福祉有償運送事業等において活躍している送迎ボランティアを対象に、今後も安全で利用者が安心できる送迎活動を継続できるように、活動者のスキルアップを目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 城野自動車学校（小倉北区霧ヶ丘1丁目15-1）
- 4 対 象 者** 送迎ボランティア活動者 30名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日時・内容** 令和2年9月5日（土）

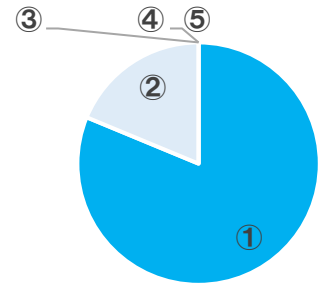
時 間	内 容	講 師 等
09:15～	受 付	
09:45 ～10:00	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:00 ～11:45	【講義・実技】 「より安心・安全運転のために」 ～運転行動の変化について～ 【実 技】 「運転チェック及びアドバイス」 ～福祉車両用コース～	城 野 自 動 車 学 校
11:45 ～12:00	【全 体 講 評】	
12:00 ～13:00	休 憩	
13:00 ～13:40	【講 義】 安全な運行のために	ボランティア・市民活動センター 活動推進課
13:50 ～14:50	【講 義】 送迎ボランティアの心がまえ ～安全に運転するために	医療法人晃輝会 デイサービス ふくみ グループホーム ふき 施設長 山崎 正
～15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	16人	16人	16人	65.8才		1日	5日
	12・5	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回数)	研修全体 について 満足できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか いと満足 できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	16件	満足 できたか?	13	3	0	0	0
	100.0%		81.3%	18.7%	0%	0%	0%



主な意見	■ 午前中の講義は、自分の弱点を知るため。午後は、ボランティアのあるべき姿を知る上で、とっても有意義でした。
	■ 日頃マンネリ運転をしてるので、このような講習を受けると自分の運転の欠点があり、これから注意して運転をしなければと、なおいっそう感じた。
	■ 今回の研修を今後の送迎ボランティアにつなげていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義と実技（運転チェック）を交え、知識と技術を確認しながら、研修を行った。
	■ 施設長から、安全運転の心構えについて話しをしていただいた。日頃の経験を交え利用者の立場に立った視点での心配りがよくわかった。
	■ 安全運転に取り組む様、今後の活動に繋がると思われる。

■ 研修風景

講義 (城野自動車学校)		実技 (城野自動車学校)	
講義 (山崎施設長)		修了証書授与式	

— 令和2年度 —

傾聴ボランティア・フォローアップ研修 開催要領

- 1 目的** 傾聴ボランティアとしてのスキルアップを図るとともに、活動者の抱える課題や疑問を解消するために、ワークを交えて学びます。また、活動者同士の交流を通して今後のボランティア活動の活性化を目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた 12H・I 研修室（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対象者** 地域で傾聴ボランティアとして活動している方 40名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修日にお渡しする納付書により、後日、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 令和2年9月25日（金）

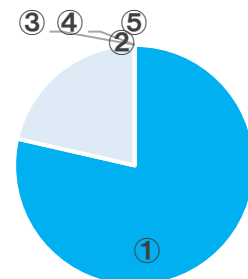
時間	内容	講師等
9:30~	受付	
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10~11:55	講義・ワーク 「傾聴力で幸せづくり ～共に目指そう！ サクセスフル・エイジング～」	心理支援オフィス・シンプル 代表 馬場 幸子
~12:00	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	39 人 3・36	31 人 79.5%	31 人	66.4 才			1 日	2 朝

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			非常に 有意義だ	どちらか というと 有意義だ	どちらとも いえない	あまり参考 にならない	全く 参考にならない
	29 件 93.5%	満足 できたか?	22 75.9%	7 24.1%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見

- 自分自身を振り返るチャンスを貰った。出来る事を出来る時に少しずつ活動をしていきたい。
- 一つ一つテーマに沿った講義がわかりやすく「生きる」ことの大切さを見直すことができた。ワークにも深みがあった。また参加したい。
- ワークあり、歌あり、メリハリある楽しくためになる研修時間だった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ禍での開催のため、各自ホワイトボードを使用し、ワークを行った。自分自身とじっくり向き合う時間は、受講者にとっても自分を見つめ直す時間となり、満足の声を多くいただいた。
	■ 今後は、活動中のボランティアさんを招聘し、実践に結びつく研修を行いたい。

■ 研修風景

開 会 挨拶		傾 聴 力 で 幸 せ づ く り	
ワ ー ク ①		ワ ー ク ②	

災害ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 近年の災害時においては、ボランティアが重要な役割を果たすとともに、被災地災害ボランティアセンターの設置により、円滑なボランティア活動が果たせるようになりました。
今回の研修では、最新の災害ボランティア活動状況等を学ぶとともに、災害ボランティアセンターの機能等を再確認する中で、ボランティアとしての資質向上を図ります。
また学びの場を通じて、活動へのモチベーションを高め、災害時に備えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 小倉南生涯学習センター 3階視聴覚室（小倉南区若園 5-1-5）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 「災害ボランティア入門講座」「災害ボランティアセンター設置訓練」修了生及び各地「災害ボランティア」経験者や校区社協の「災害時福祉救援体制づくり」推進担当者等 【定員 30 名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年11月29日（日）

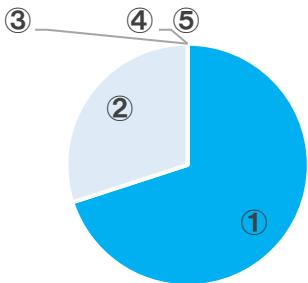
時間	内 容	講師等
09:30~	受 付	
10:00~	開 会	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所 (小倉南区社会福祉協議会)
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:15~ 11:00	講義 1 「北九州市の地域防災計画における ボランティアや地域住民のかかわり」	北九州市危機管理室 危機管理課 防災企画係 本 田 達 也
11:00~ 12:00	講義 2 「コロナ対応における災害ボランティア活動」 ～今年の久留米、大牟田の事例～	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤 澤 健 児
12:00~	昼 休 み	
13:00~ 14:50	講義 3 「大規模災害時における ボランティア活動の現状と課題」	
14:50~ 15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	31 人	31 人	31 人	- 才		1 日	5 日
	6・33	87.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらか いうと その通り	どちらとも 言えない	どちらかと言うと その通り	全く その通り
	30 件	満足 できたか?	21	9	0	0	0
	96.8 %		70.0 %	30.0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実際にいろんな被災地に行かれた経験かのお話はとても参考になった。地域に住んでいる者が被災時にニーズを把握することが大事ということもわかった。 ■ 現場の第一線の方の話が聞いて良かった。 ■ ケーススタディにそった形での話し合いでよかった。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害ボランティア登録者と小倉南区の福祉救援体制を選択している校（地）区の会長等、計31名の参加者があった。 ■ 危機管理室は近年の状況や想定されている災害など北九州の情報の話があった。 ■ 今年の久留米・大牟田の災害対応の事例や、コロナ禍での状況など、今後どのような事に気がつけたら良いかなど、それぞれが考える有意義な研修だった。
--------------------	---

■ 研修風景

開催挨拶 (米原事務所長)		危機管理室 本田主査	
九州防災パートナーズ 藤澤先生		修了証書授与式	

令和2年度 ボランティアリーダー研修 実施要領

ボランティアグループ運営研修

～ グループ継続のために知って役立つ運営術

- 1 趣 旨** ボランティアグループ運営に必要な知識やテクニックを身につけ、グループ活動を長く継続させることを学ぶ研修です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** ボランティアグループで活動されている方【定員 30 名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受講料** 700 円（研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日時・内容** 令和2年10月17日（土）

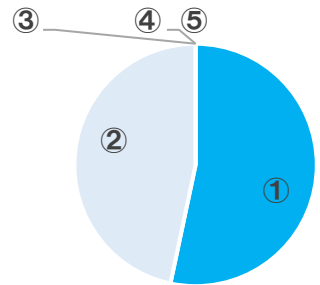
時間	内 容	講師等
09:30 ～	受 付	
10:00 ～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10 ～ 11:00	グループ運営とは ～助成金の申請に必要な準備等～	ボランティア・市民活動センター 活動推進課
11:10 ～ 12:00	事例発表 私のグループ活動	私たちの未来環境プロジェクト 代表 池本 真一
13:00 ～ 15:00	講義 活動に役立つコミュニケーション	オフィス新開 代表 新開 よしこ
～ 15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	17人	15人	15人	64.5才		1日	5週
	8・9	88.2%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	15件	満足 できたか?	8	7	0	0	0
	100.0%		53.3%	46.7%	0%	0%	0%



主な意見	■ ボランティアの4原則等が詳しく説明されて大変わかりやすかった。
	■ ボランティア活動の再認識と助成金について聞いてとても有効だった。
	■ コロナの関係でグループセッションはありませんでしたが、ホワイトボードでの話し合いも有効だった。ことばの使い方など勉強になった。
	■ 優しいコミュニケーションの仕方が充分理解できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 3つの構成で行った。活動推進課の話は、ボランティアの四原則から始まりグループの運営について、助成金の申請前にすべき事など分かりやすく好評だった。
	■ 事例発表は、グループの代表に活動内容、助成金の有無など幅広い話だった。
	■ コミュニケーションの重要性が理解できたようで、言葉遣いなどの大切さも伝わった。今後、グループが継続、発展するための運営術として有意義な研修だった。

■ 研修風景

グループ運営とは		私のグループ発表	
活動に役立つコミュニケーション		修了証書授与式	

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 松ヶ江南市民センター（門司区吉志新町2-1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年8月27日（木） 13：30～15：00

時 間	内 容	講 師 等
13：00～	受 付	
13：30～	開 会	門司区社会福祉協議会 運営委員会 会 長 進 森太郎
13：40～ 14：50	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」 社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 (門司区社会福祉協議会) 事務所長 宇都宮 慎吾
～15：00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 大里南市民センター（門司区原町別院13-27）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年9月3日（木）10：00～11：30

時 間	内 容	講 師 等
9：30～	受 付	
10：00～	開 会	門司区社会福祉協議会 運営委員会 副会長 篠塚 忠二
10：10～ 11：20	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」 社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 (門司区社会福祉協議会) 事務所長 宇都宮 慎吾
～11：30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 門司生涯学習センター（門司区栄町3-7）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年9月8日（火）10:00～11:30

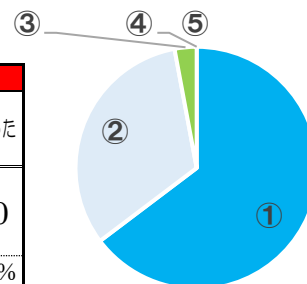
時 間	内 容	講 師 等
9:30～	受 付	
10:00～	開 会	門司区社会福祉協議会 運営委員会 副会長 貞方 實則
10:10～ 11:20	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」 社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 (門司区社会福祉協議会) 主 事 沖廣 香名
～11:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 門司区事務所 (門司区社会福祉協議会) 事務所長 宇都宮 慎吾

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	34人	34人	34人	—才			
—・—	100.0%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかという 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	34件	満足 できたか?	22	11	1	0	0
	100.0%		64.7%	32.4%	2.9%	0%	0%



主な意見	■ 初めて福祉協力員になり、どういった活動をするか不安だったが、研修に来てはっきりわかりました。
	■ 北九州市の事、門司区の高齢化事情など教えていただいて初めてしりました。私たちの活動の必要性を感じ、お役に立ちたいと思いました。
	■ とても勉強になりました。校区の方々と相談します。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密をさけ、開催場所を変えつつ、3か所で実施した。講義中心だったが、社協の活動やふれあいネットワークの3つのしくみなど基本が理解できたとの声が多く、高評価だった。コロナ禍の中、従来とは違うが、出来ることから少しずつ取組んでほしい。
--------------------	---

■ 研修風景

1 回 目		2 回 目	
3 回 目		研修中の様子	

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** ムーブ 5階 大セミナールーム (小倉北区大手町11番4号)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年10月28日(水) 13:30~15:00

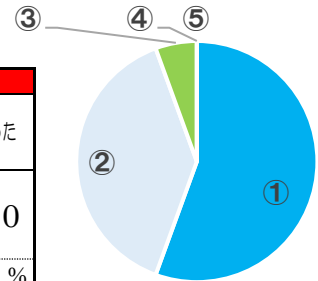
時 間	内 容	講 師 等
13:00~	受 付	
13:30~ 13:40	開 会 オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 小倉北区事務所 (小倉北区社会福祉協議会)
13:40~ ~14:00	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」について	北九州市社会福祉協議会 小倉北区事務所 (小倉北区社会福祉協議会) 事務所長 島田 直樹
14:00~ ~14:50	住民が主役の地域づくり 「ふれあいネットワーク活動」と 「福祉協力員の役割」について	北九州市社会福祉協議会 小倉北区事務所 (小倉北区社会福祉協議会) 地域支援コーディネーター
15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18 人 14・4	18 人 100.0%	18 人	— 才		1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか というと 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	18 件 100.0%	満足 できたか?	10 55.6%	7 38.8%	1 5.6%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 新任ではないですが、再確認し、新たな気持ちで取り組みたいと思います。地域に持って帰って、みんなに伝えます。
	■ 今まで知らないことがよく分かりました。ありがとうございました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 参加者の7割以上が新任福祉協力員ではなく、校区社協会長や事務局長等、活動者の中でもリーダー的存在であり、活動周知や伝達研修で活用は考えられるが、直接の受講対象者ではない。そのため、新任研修を効果的に実施するための区事務所の募集の在り方について検討課題としたい。
--------------------	--

■ 研修風景



— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修会 実施要領

《集合研修》

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、地域住民が主体の「ふれあいネットワーク活動」を中心に“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、活動の担い手である福祉協力員等に新たに就任された皆さんが、有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 研修日程** 令和2年9月5日（土）10：00～11：30
- 4 会 場** 北九州市立小倉南生涯学習センター（小倉南区若園 5-1-5）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員・ニーズ対応員限定
- 6 研修内容**

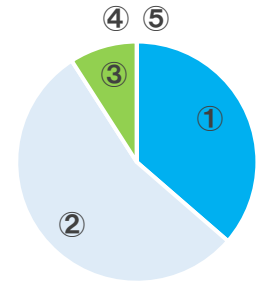
時 間	内 容	講 師 等
9:30～	受 付	
10:00 ～10:05	開 会	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所 事務所長 米原 徹二
10:05 ～11:00	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動等について」	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所
11:00 ～11:15	事業説明 「いのちをつなぐネットワーク等につ いて」	小倉南区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長
11:15 ～11:25	質疑応答	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所
～11:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 所 長 火箱 要

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	15 人	11 人	11 人	— 才			1 日	2 時間
	5・10	73.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	11 件 100.0 %	満足 できたか?	4 36.4 %	6 54.5 %	1 9.1 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 様々な立場での見守りが、地域の人々を支えていることがわかった。
	■ 孤立している人を直接見つけることは難しいが、私達が地域の中で動く中で気づけることができたらいいなと思った。
	■ 地域を支える仕組みを知ることは、地域の一員として大切なことだと思った。
	■ 福祉協力員の具体的な活動内容が理解できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 福祉協力員として活動する際の不安解消のため、現役で活動されている方の体験談を取り入れるなど工夫をしていきたい。
	■ DVD など視覚を通して、福祉協力員の活動を伝えることは、イメージが湧きやすく、効果が大きいと言える。

■ 研修風景

開会挨拶		社会福祉協議会活動と ふれあいネットワーク活動等について	
いのちをつなぐネットワーク等について		閉会挨拶	

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修会 実施要領

《集合研修》

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、地域住民が主体の「ふれあいネットワーク活動」を中心に“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、活動の担い手である福祉協力員等に新たに就任された皆さんが、有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 研修日程** 令和2年9月12日（土）13：30～15：00
- 4 会 場** 北九州市立曾根市民センター（小倉南区中曾根 3-9-7）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員・ニーズ対応員限定
- 6 研修内容**

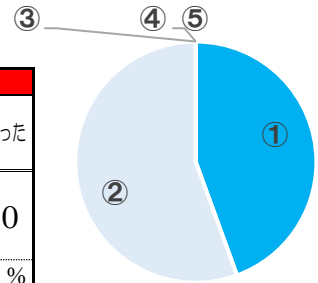
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30 ～13:35	開 会	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所 事務所長 米原 徹二
13:35 ～14:30	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動等について」	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所
14:30 ～14:45	事業説明 「いのちをつなぐネットワーク等について」	小倉南区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長
14:45 ～14:55	質疑応答	北九州市社会福祉協議会 小倉南区事務所
～15:00	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	11 人	9 人	9 人	— 才			1 日	2 時間
	2・9	81.9 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	9 件	満足 できたか?	4	5	0	0	0
	100.0 %		44.4 %	55.6 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 住み慣れた所で生活をしていけるようサポートをしていこうと思った。地域内の訪問したい方を一人も見落とすことのないよう、横のつながりを強化できている地域でありたい。
	■ ふれあいネットワーク活動をして繋がっていこうと思う。
	■ 新人なので少しずつ協力できることをしていこうと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 社協の活動やふれあいネットワークの話など、分かり易く、活動の基本が理解できたとの声が多数あり、高評価だった。
	■ いのちをつなぐネットワークの存在と役割について理解を深める事ができた。
	■ それぞれの参加者が今後の活動に目標が持てたようだった。

■ 研修風景

開会挨拶		社会福祉協議会活動と ふれあいネットワーク活動等について①	
会福祉協議会活動と ふれあいネットワーク活動等について②		いのちをつなぐネットワーク等について	

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 若松市民会館（若松区本町3丁目13-1）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和2年10月14日（水）13：00～14：30

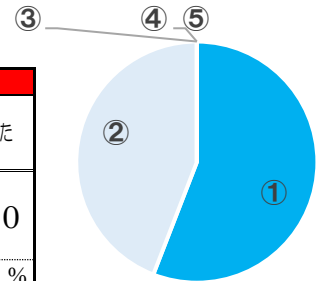
時 間	内 容	講 師 等
12：30～	受 付	
13：00～	開 会	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 事務所長 木下 義憲
13：10～13：30	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 主 事 前田 純志
13：30～13：50	社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	
13：50～14：00	休 憩	
14：00～14：30	「福祉協力員としての心構え」	古前校区社会福祉協議会 阿部 芳美
～14：30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	38 人	38 人	38 人	— 才			1 日	2 時間
	6・32	100%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか と言うと 満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	36 件	満足 できたか?	19	15	0	0	0
	94.7%		52.8%	41.7%	0%	0%	0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しいスタートに役立つ話が聞けた。実践している人の話は参考になった。 ■ 自分が高齢者の仲間に入って行くので背伸びせず、ゆっくり行動していきたいと思った。 ■ 社会福祉協力員とは、大まかに理解をしていたが、今日の説明を聞いてよくわかった。見守りの大切さを痛感した。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社協の活動やふれあいネットワークの話などわかりやすく、活動の基本が理解できたとの声が多くあり、高評価だった。 ■ 長年の活動者の経験ややりがいをお話いただくことで、今後の活動の意欲とともに新任者の不安解消につながったと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		社会福祉協議会活動	
福祉協力員としての心構え		閉会挨拶	

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** レインボープラザ7階71会議室（八幡東区中央2丁目1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年9月26日（土）13：00～15：10

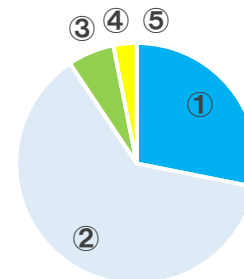
時 間	内 容	講 師 等
12：30～	受 付	
13：00～	開 会	八幡東区社会福祉協議会
13：10～ 13：30	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」	八幡東区社会福祉協議会 事務所長 本村 哲也
13：30～ 13：50	社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	八幡東区社会福祉協議会 主 事 梶原 吉恵
13：50～ 14：00	休 憩	
14：00～ 14：30	ふれあいネットワーク活動の支援 「いのちをつなぐネットワーク・ 地域包括支援センターについて」	八幡東区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク 担当係長 森本 奈生子 地域包括支援センター 担当係長 柴田 由佳
14：30～ 15：05	先輩福祉協力員からの活動発表 「私のふれあいネットワーク活動」	枝光北地区社会福祉協議会 会長 近藤 伸久 福祉協力員 三村 美恵子 民生委員 山田 鎮生
～15：10	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	39 人 18・19	37 人 100%	37 人	— 才		1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		満足できた	どちらかとい うと満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	33 件 89.1%		9 27.3%	20 60.6%	2 6.1%	1 3.0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 講師、先輩福祉協力員の説明、お話がわかりやすく、今日の研修に参加できて大変有意義だった。 冊子だけ配られても内容を読まないで、こういう説明会は助かります。熱い思いで活動して下さる方々の事を知れたので良かったです。 福祉協力員の役割が理解出来たと思います。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> 社協の事業説明や先輩協力員からの話はわかりやすかったが、いのちをつなぐネットワーク活動や地域包括支援センターの行政職員からの説明については、配布資料中心の事務的な説明だったため、抽象的なものとなり、事例や具体的な説明を求める声があがった。個人情報に留意しつつ検討要請したい。
--------------------	---

■ 研修風景

「開会挨拶」		「社会福祉協議会活動」	
「ふれあいネットワーク活動」		「活動発表」 私のふれあいネットワーク活動」	

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 八幡西生涯学習総合センター 大会議室
(八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3階)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年10月17日(土)

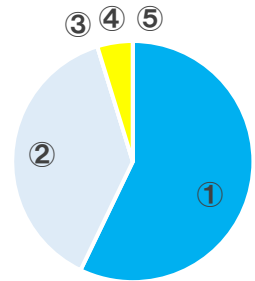
時 間	内 容	講 師 等
12:30~	受 付	
13:00~13:05	開 会	八幡西区社会福祉協議会 会 長 奥 尾 一 雄
13:05~13:10	オリエンテーション	八幡西区社会福祉協議会
13:10~14:20	「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動推進事業」	八幡西区社会福祉協議会 主 事 藤 永 恭 子
14:20~14:30	休 憩	
14:30~15:30	「福祉協力員としての心構え」	八幡西区社会福祉協議会 事務所長 久留島 一暢
15:30~	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	33 人	26 人	26 人	— 才			1 日	3 時間
	6・20	78.8 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらか という 満足できた	どちらとも いえない	あまり満足 できなかった	不満だった
	23 件 88.5 %	満足 できたか?	12	8	0	1	0
			52.2 %	34.8 %	0 %	4.3 %	0 %



主な意見	■ まち作りは若い方々のお仕事と考えておりましたが、何か私でもお役に立てそうな…。「ありがとう」の先払いをいただいた様な気がしています。ありがとうございました。
	■ 自発能動ではないところもあり、自分の成表と意識が課題と思いました。
	■ 校区社協の研修会で聞かせてもらいたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 社協の事業説明はわかりやすく、福祉協力員の役割期待など含め9割強の参加者に理解していただけたが、一部に自助・共助・公助では、ボランティアより国の公助主体を求める声や、個人情報保護と活動との折り合い、町内会脱会者の増加を危惧する声も見受けられた。今後の検討課題としたい。
--------------------	--

■ 研修風景

「開会挨拶」		「社会福祉協議会の活動とふれあいネットワーク推進事業」	
「福祉協力員としての心構え」		「福祉協力員としての心構え」	

— 令和2年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員や地域の福祉活動に興味のある方など
- 4 研修会場** 戸畑区役所 3階 大会議室（戸畑区千防1丁目1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年 **11** 月 **4** 日 (水) **10:00~12:00**

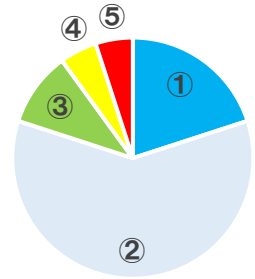
時 間	内 容	講 師 等
9:30~	受 付	
10:00~ 10:05	開会挨拶	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 所長 川原 正明
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所
10:05~ 10:45	◆福祉協力員の活動を知ろう DVD鑑賞「探 梅 」	
10:45~10:55	休 憩	
10:55~ 11:25	◆これからの活動を楽しくラクにするヒント！ ◇事業説明1 「ふれあいネットワーク活動推進事業 ～やさしさを紡ぐ福祉協力員！～」	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 主 事 山根 浩子
11:25~ 11:45	◇事業説明2 「いのちをつなぐネットワーク事業 ～困難事例はおまかせください！～」	戸畑区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク係 担当係長 板谷 稔
11:50~	閉会挨拶	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 所長 川原 正明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	20 人	20 人	20 人	— 才			1 日	2 時間
	3・17	100%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
			20 件 100.0%	4 20.0%	12 60.0%	2 10.0%	1 5.0%



主な意見	■ 以前から気になっていたが、協力員に応募でき、研修をうけてよかった。
	■ 一人ひとり信頼関係を築きながら、見守る、つなげるを大切に活動したい。
	■ すべての命を大切にする。心に残りました。地域を歩く時のさりげない見守りを心がけていきたい。
	■ 一人で抱え込まず、心の拠り所となれるように活動したい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、グループワークは無くし、密をにならない様に研修を行った。福祉協力員の活動をしてもらう為、「探梅」のDVD鑑賞をしたが、とても好評だった。
	■ ふれあいネットワーク活動の話も分かりやすかったとの声が多数聞かれた。

■ 研修風景

探梅DVD鑑賞		社会福祉協議会活動	
いのちをつなぐネットワーク係 担当係長 板谷 稔		閉会挨拶	

— 令和2年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 門司区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 門司生涯学習センター 3階 第1、2会議室（門司区栄町3-7）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 令和2年10月8日（木）

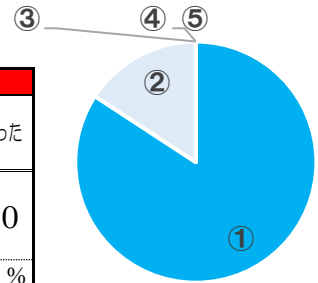
時間	内容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開会	門司区社会福祉協議会 運営委員会 会長 進 森太郎
13:05～ 15:20	講話 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	門司区社会福祉協議会 事務所長 宇都宮 慎吾

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	19 人	19 人	19 人	— 才			1 日	3 時間
	2・17	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	19 件 100.0 %	満足 できたか?	16 84.2 %	3 15.8 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 支援する方、される側がお互いに協力する大切さ。一方通行にしない事大切さ、支え合いの重要性を勉強できました。
	■ 協力員として10年ですが、まだまだ互助に力をいれなくてはと新たに思いました。この研修で私自身に活力をいれていただきありがとうございました。
	■ 福祉と地域づくり、人と人との絆、互助の大切さ、ありがたさを改めて感じました。自分の出来る事を徐々にやってゆこうと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 中村先生の熱心な話しぶりに、引き込まれるように話をきいてる姿が印象的だった。コロナウイルス感染拡大防止の為、グループワークは無し、講義のみであったが、あっという間の2時間半だった。参加者にとっては楽しく学ぶ事ができ、モチベーションアップにつながったと思う。
--------------------	--

■ 研修風景

会場掲示		開会挨拶 進会長	
講義		講義	

— 令和2年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 小倉北区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」5階大セミナールーム（小倉北区大手町11番4号）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年12月3日（木）

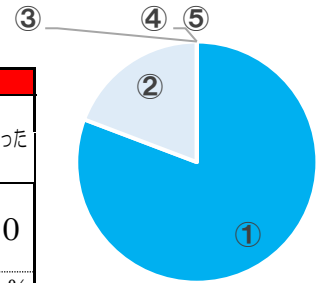
時間	内 容	講師等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	北九州市社会福祉協議会 小倉北区事務所 事務所長 島田 直樹
13:05～ 14:05	講 義 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学 福祉学科学科長/教授 中村 秀一
～14:15	休憩	
14:15～ 15:20	講 義 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学 福祉学科学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課長 松田 一喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	33人	29人	29人	—才		1日	3時間
	11・18	87.8%					

■ アンケート結果

体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらと言 うと不満足だった	不満足だった
			27件 93.1%	21 77.8%	5 18.5%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 自分らしく生き甲斐として協力していきたいと思う。
	■ 大変分かりやすく楽しく聞けました。
	■ 具体的な例でわかりやすく、これからも頑張りたいとまた新たな気持ちになれました。
	■ 福祉協力員の講習を受けることにより、地域におこる自分達や他役員に対する考え方が少し変わったことが少しわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年の研修も孤立死や介護の現状など新たな切り口からの講義であったため、受講者が熱心にひきつけられ、多くの気付きを与えてくれ、満足の声が多かった。特に、行政が全てを行う事ができないので、地域でボランティアが人と人とのつながりを持って見守る事の必要性を感じ取っていただけたようだ。
--------------------	--

■ 研修風景



— 令和2年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 小倉南区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 小倉南生涯学習センター 3階視聴覚室（小倉南区若園5-1-5）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年12月12日（土）

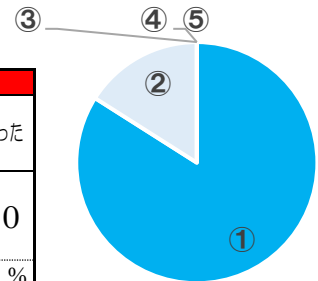
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	小倉南区社会福祉協議会 事務所長 米原 徹二
13:05～ 15:25	講 義 「みんなが安心して暮らせる まちづくり」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
～15:30	閉 会	小倉南区社会福祉協議会 事務所長 米原 徹二

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	30 人	25 人	25 人	— 才			1 日	3 時間
	3・27	83.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	25 件	満足 できたか?	21	4	0	0	0
	100.0 %		84.0 %	16.0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 自分らしく生きる事、人とつながって生きる大切さを教えて頂いた。赤い羽根共同募金がいかに大切かを改めて感じた。
	■ 分かりやすく心に響いた。
	■ 沢山生きる力を頂いた。幸せになることを信じて励ましていきたいと思った。
	■ 支援の和や自分でできる事など色々な方面からの手助け、繋がりなど、人とのふれあいが重要だと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 共感を得る身近な話を例に挙げ、わかりやすく、時に笑いも挟み、長時間の研修だったが、集中力が途切れることなく、楽しく身になる有意義な研修だった。
	■ 福祉協力員の仕事の理解と共に福祉協力員の意義を改めて再確認でき、今後の活動の意欲向上にも繋がった。

■ 研修風景

開会挨拶		みんなが安心して暮らせるまちづくり①	
みんなが安心して暮らせるまちづくり②		みんなが安心して暮らせるまちづくり②	

— 令和 2 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 若松区内の福祉協力員等
- ※参加者の密を避ける為、60名を越える申込があった場合は調整させていただきます。
- 4 研修会場** 若松ポート（クレカ若松）2階 市民ホール
(若松区赤岩町 13-1 TEL761-3422)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和 2 年 11 月 4 日（水）13：00～15：30

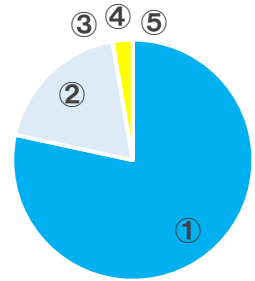
時 間	内 容	講 師 等
12：30～	受 付	
13：00～	開 会	北九州市社会福祉協議会 若松区事務所 事務所長 木下 義憲
13：05～ 15：25	講 義 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学 福祉学科学科長/教授 中村 秀一
～15：30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	42 人	41 人	41 人	— 才			1 日	3 時間
	13・29	97.6 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	38 件 92.7 %	満足 できたか?	29 76.3 %	7 18.4 %	0 0 %	1 2.6 %	0 0 %



主な意見	■ 具体的に色々なケースや心理を例示して分かり易かった。
	■ 時代と共に問題点も変化し、自分の中でどう関わっていくか考えさせられた。
	■ 出来る事を出来る時に出来る限り実行する。先生の話に同感することがあり、的をえた話、今後の活動に生かしたい。
	■ 特に支援の考え方、しくみ作りの講義が自分に良かったと思う。
	■ 地域でのまちづくり。しくみづくりが大切である事がわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 例年、中村教授に講師をお願いしているが、その年の福祉問題に沿った旬の講義は、受講者を飽きさせず、多くの気付きを与えてくれるため、満足の声を多くいただいた。
	■ 福祉協力員の仕事が理解できて、今後の活動の参考になったようだ。

■ 研修風景



— 令和2年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 八幡東区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 八幡東区社会福祉センター 3階 研修室（八幡東区西丸山町2-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年10月29日（木）

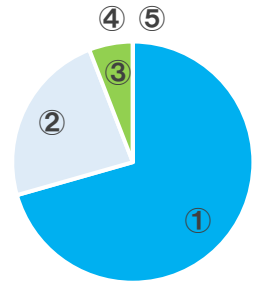
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	北九州市社会福祉協議会 八幡東区事務所 (八幡東区社会福祉協議会)
13:05～ 15:20	講 義 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学 福祉学科学 学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	まとめ・閉 会	北九州市社会福祉協議会 八幡東区事務所 (八幡東区社会福祉協議会)

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	17 人	17 人	17 人	— 才			1 日	3 時間
	9・8	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと満足だった	不満だった
	17 件	満足 できたか?	12	4	1	0	0
	100.0 %		70.6 %	23.5 %	5.9 %	0 %	0 %



主な意見	■ 今日はありがとうございました。町内会に入っていない人を知るためにも民生委員さんと協力して地域を見守れる仕組みが出来ればいいな！と思いました。
	■ 共助を進めながら、市はコンパクトシティ…市街化調整区域の見直しで現在のコミュニティーをこわしてしまう。政策に出ている。非常に矛盾を感じる。社協としてこの問題を取り上げて市に方向性をハッキリさせてもらいたい。
	■ 大変参考になりました。今後、更に勉強していきたいと思っております。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年の研修も孤立死や介護の現状など新たな切り口からの講義であったため、受講者が熱心にひきつけられ、多くの気付きを与えてくれ、満足の声が多かった。
	■ 一方で活動後継者の不足から来る悩みも見受けられる。今後の研修で対応を検討していきたい。

■ 研修風景



— 令和2年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 八幡西区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立八幡西生涯学習総合センター 大会議室
(八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3階)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和2年11月5日(木)

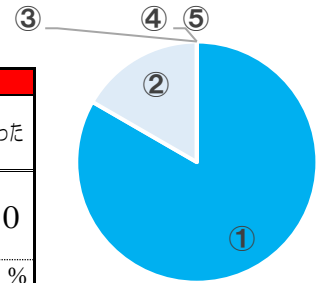
時 間	内 容	講 師 等
12:30~	受 付	
13:00~	開 会	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会) 会長 奥尾 一雄
13:05~ 14:25	講 義 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学 福祉学科学 学科長/教授 中村 秀一
~14:35	休 憩	
14:35~ 15:20	講 義 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	
15:20~ 15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会 八幡西区事務所 (八幡西区社会福祉協議会) 所長 久留島 一暢

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	28 人 4・21	25 人 89.3%	25 人	— 才			1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
	18 件 72.0%	満足 できたか?	15 83.3%	3 16.7%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 「福祉協力員の役割」に関し認識出来ました。
	■ とてもわかりやすく楽しく聞かれました。
	■ 担当の民生委員さんがかわったので、見守り活動が変わり声掛けもしなくなっ てきていました。コロナの関係もあって、集りもなくなり…でも今日の研修で初 心を思い出し、地域へ帰り、見守り、励まし活動再開します。
	■ 地域住民として少しでもつながりを持ってやっていこうと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今年の研修も孤立死や介護の現状など新たな切り口からの講義であったため、受 講者が熱心にひきつけられ、多くの気付きを与えてくれ、満足の声が多かった。
	■ 特に、講師の人气が高く、再受講や、多くの他の方にも講師の話をきいてほしい との要望も強い。地域の福祉への意識向上のニーズを活かしていきたい。

■ 研修風景



— 令和2年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これからの地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を再認識することで、福祉活動のさらなる充実を図ることを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 戸畑区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** ウェルとばた12H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 令和3年3月23日（火）

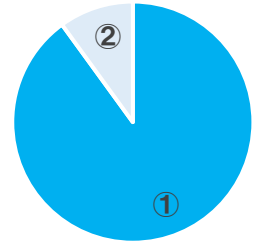
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 (戸畑区社会福祉協議会) 会長 福田 泰治
13:05～ 14:25	講 義 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
～14:35	休 憩	
14:35～ 15:20	講 義 「地域共生社会の実現に向けて」 ～地域における支え合いの重要性～	
15:20～ 15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会 戸畑区事務所 所長 川原 正明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	20 人	20 人	20 人	— 才			1 日	3 時間
	5・15	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	どちらかと言 うと不満足だった	不満足だった
			20 件 100.0 %	満足 できたか?	18 90.0 %	2 10.0 %	0 0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福祉協力員としての役割と寄り添え方をより深く考えさせられました。 ■ 福祉とは共に生きること。介護のむずかしさ、人の協力が必要 ■ 数年前より見守りをさせて頂いていますが、高齢者が多く、昨年よりコロナで外出や、となり近所の方との接触が少なくなり、孤立生活の方が多く食事があまりとれない、声が出にくい、足などが動きにくいといわれる方が多い 自分もゆく道なので、しっかり見守りをさせて頂きたい。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実体験を交えての分かりやすい講義で、福祉の大切さが充分伝わったと思った ■ アンケートの評価も高く、受講生に評価も高かった ■ コロナ対策の為、グループワーク無しで、講義のみだったが、熱心にメモをとる姿が多数みられた。これからの見守り活動につながる良い研修だったと思う
--------------------	--

■ 研修風景



— 令和2年度 —

地域福祉活動専門研修 実施要領

～ わがまちの福祉のまちづくり中長期計画策定に向けて ～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要「校(地)区社会福祉協議会」が中心となり、地域の福祉課題に対応できるよう「ふれあいネットワーク活動」に取り組んでいます。
この活動の指針となる「北九州市地域福祉活動第五次計画」を推進するうえで、校(地)区社協が策定する「小地域福祉活動計画」は、大変重要な役割を担います。
本研修では、計画づくりの意義と必要性等の理解を深めるとともに、校(地)区社協の計画策定が実現することを願い、開催するものです。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 開催会場** ウェルとばた3階中ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 4 対象者** 校(地)区社会福祉協議会の事務局長、ふれあいネットワーク活動部長、福祉協力員、民生委員・児童委員など【定員80名】
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 5 日時・内容** 令和2年11月27日（金）
テーマ：小地域福祉活動計画づくりの意義と必要性を学ぶ
※本研修は、令和2年度に第一次計画並びに第二次計画の策定に取り組む校(地)区社会福祉協議会の皆様に、計画づくりの意義と校(地)区社協にとっての成果を学んでいただきます。

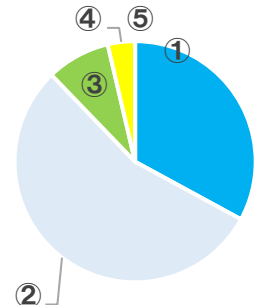
時間	プログラム	講師等
13:00 ～13:15	開 講	北九州市社会福祉協議会 事務局長 礒田佳宏
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:15 ～14:00	講 義 「計画の意義と必要性について」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 村山浩一郎
14:00 ～15:00	パネルディスカッション ～ 事例発表 ～	
	◆発表① 「計画策定時に携わった人の変化について」	錦町校区社会福祉協議会 会長 手島稔之
	◆発表② 「計画策定後の地域(まち)の変化について」	浜町地区社会福祉協議会 事務局長 金山千恵
～15:15	休 憩	
15:15 ～15:50	講 義 「計画の成果や展望について」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 村山浩一郎
～16:00	閉 講	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚純一

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	106 人	100 人	100 人	— 才			1 日	3 日
	42・64	94.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらかとい うとその通り	どちらとも いえない	どちらか言っ てもその通り	全くその通り
	88 件	満足 できたか?	27	45	7	3	0
	88.0 %		30.7 %	51.1 %	8.0 %	3.4 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 役割や話し合いがしっかり出来ている活動が聞けたのがよかった。 ■ 地域の課題をみつけ、皆で活動計画をたてて進めていくことの必要性を感じた。話し合いのプロセスが大切で、目標を持って楽しい地域づくりをして行けたらいいな。 ■ 多様性社会に対応するために小地域福祉の大切さを実感した。 ■ 活動計画の意義と必要性について理解ができた。 ■ 福祉活動もコロナの感染で中々実施できず、淋しい思いをしている。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加希望者が100名を超えたので、開催場所を急遽多目的ホールから中ホールに変更した。新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、密にならない様に気を付けた ■ 事例発表は、分かりやすく参考になったとの声が多く聞かれた 小地域福祉活動の意義や必要性が伝わる有意義な研修だった。
--------------------	--

■ 研修風景

開会の挨拶		村山先生の講義	
事例発表校(地区)		パネルディスカッション	

— 令和2年度 —

ボランティアフォーラム実施要領

～地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」～

テーマ 「ひとりにしない、させない。With コロナの時代でも私たちつながっています。

～ふれあいネットワーク活動・ボランティア活動発信～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、全国水準を上回る少子高齢社会を迎える中、校(地)区社会福祉協議会においては、「ふれあいネットワーク活動」を中心に、住民がお互いを見守り、支え合い、孤立しがちな人々とのつながりを強め、生活課題の発見や解決を支援していく取り組みを進めています。
- また、市内では約 23,000 人のボランティア活動者が、様々な取り組みを行っています。
- 新型コロナウイルス感染症対応という難しい局面を迎え、3密を避けた新しい生活様式を取り入れながら、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、これからの校(地)区社協活動やボランティア活動について、先進事例を発信し、ともに考えていくことを目的に開催するものです。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** ウェルとばた3階 大ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対象者** 校(地)区社協 正・副会長、小地域福祉活動においてリーダー的役割を担う方、ボランティア活動者【定員200名】
- 午前の部：門司・小倉南・若松・戸畑 76校(地)区
- 午後の部：小倉北・八幡東・八幡西 79校(地)区
- 5 日時・内容他** 令和2年 10月25日(日)

※新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大等、今後の状況によっては本研修会をやむなく延期・中止する場合がございます。その際はご了承ください。

午前の部

時 間	内 容
9：30～	受 付
10：00～10：15	開 会・オリエンテーション
10：15～11：15	<p>活動報告 「私たち、こんな活動をしています」</p> <p>「with コロナの環境においてもつながる！まちの駅「きくがおか」（市民センター）安心安全で生きがいのある楽しいまちづくり」</p> <p>講師：企救丘校区社会福祉協議会 会長 岡本 広治</p> <p>「コロナに負けず、夏の暑さにも負けず『正しくおそれながら』ウィズコロナで『地域のつながり持続』」</p> <p>講師：高須地区社会福祉協議会 会長 香月 英彦</p> <p>「with コロナ～新型コロナウイルスが教えてくれたこと～」</p> <p>講師：社会福祉法人容風会 おきなのだいサービス 「いきがい元気塾」センター長 桑野 恵子</p> <p>「今こそ試される地域のか、そしてその可能性」</p> <p>講師：北九州市立大学地域共生教育センター 副センター長 坂本 毅啓</p>
～11：50	意見交換 コーディネーター：北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一
～12：00	閉 会

午後の部

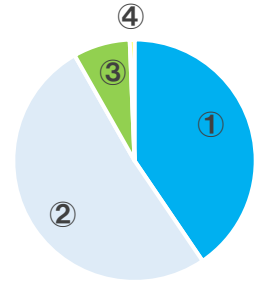
時 間	内 容
13：30～	受 付
14：00～14：15	開 会・オリエンテーション
14：15～15：15	<p>活動報告 「私たち、こんな活動をしています」 「高齢者と子どもたちをつなぐウェルクラブ活動」 講師：永犬丸西校区社会福祉協議会 会長 角見 志津子</p> <p>『『ありがとう』と『お互いさま』の生活支援』 講師：高槻地区社会福祉協議会 会長 三吉 良彦</p> <p>「with コロナ～新型コロナウイルスが教えてくれたこと～」 講師：社会福祉法人容風会 おきなのだサービス 「いきがい元気塾」センター長 桑野 恵子</p> <p>「今こそ試される地域のか、そしてその可能性」 講師：北九州市立大学地域共生教育センター 副センター長 坂本 毅啓</p>
～15：50	意見交換 コーディネーター：北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一
～16：00	閉 会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	219 人	A:104 P:115 93.6 %	205 人	— 才		1 日	4 時間

■ アンケート結果

全体評価	回 答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	158 件 77.1 %	満足 できたか?	64 31.2 %	81 39.5 %	12 5.9 %	1 0.5 %	0 0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナの中でどうすれば何が出来るかについていろいろ工夫されていることに感心した。考え方を改めたいと思う。 ■ 地域によつての課題の違い、それに対する対応がそれぞれあることを知った。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍の中、できる活動を考え、工夫しできることをやる事、また、校（地）区間の交流や情報共有できる場を設け、自校（地）区でも取り入れる機会とし活動の活性化を図る内容で研修を開催できた。
--------------------	--

■ 研修風景

「開会」		「活動発表」 午前の部	
「活動発表」 午後の部		「意見交換会」	

— 令和 2 年度 —

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域住民主体の小地域福祉活動を展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、社協活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくのか、市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 3 階中ホール（戸畑区汐井町 1-6）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員に就任された方
【定員 80 名】
(新任の会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等)
※定員を超えた場合、受講調整をすることがありますので、予めご了承ください。

5 日程・内容 令和 2 年 11 月 10 日 (火)

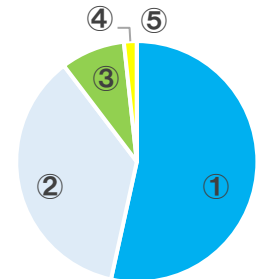
時 間	内 容	講 師 等
12:30~	受 付	
13:00~ 13:10	開 会	北九州市社会福祉協議会 事務局長 礒 田 佳 宏
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:10~ 13:30	講 義 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 杉 本 真 奈 美
13:35 ~14:15	事例紹介 事例で学ぶ「校(地)区社協の運営」	コーディネーター 九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中 村 秀 一
	事 例 I 「連絡調整会議を中心とした組織運営」	黒崎地区社会福祉協議会 会 長 花 田 修
	事 例 II 「地域の幸せづくりのお手伝い ～浅生地区社協の取り組み～」	浅生地区社会福祉協議会 会 長 杉 本 昭 則
14:15~	休 憩	
14:25 ~16:05	講 義 「地域の関係団体との連携・協働」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中 村 秀 一
~16:10	閉 会	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 久 塚 純 一

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	74人	70人	70人	—才			1日	3時間
	—・—	94.6%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全くその通り	どちらかとい うと その通り	どちらとも 言えない	どちらかとい うと そうでもない	全く そうでない
	58件 82.9%		31 53.4%	21 36.2%	5 8.6%	1 1.7%	0 0%



主な意見	■ 支援者＝受援者の考えに共感した。行政と福祉協力員の役割の違いが分かった。
	■ 社協の理念・活動などを知ることができ、参考になった。
	■ 事例紹介、および講義内容は、大いに参考になった。
	■ 二つの地区の事例発表は大変参考になった。中村先生の講義も大変わかりやすく、地域に持ち帰り少しでも地域の皆さんに伝える事ができればと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ コロナ禍の開催で感染防止策として、会場、実施時間、配分等、変更したが、滞りなく遂行でき、内容も凝縮し、満足度も高かった。
	■ 事例発表は2校区とも内容が濃く、自分の地域と比較しながら。ルール作り等の参考になり、刺激になったようだ。

■ 研修風景

小地域福祉活動の意義と校(地)区社協運営について		事例紹介①	
			
事例紹介②		地域の関係団体との連携・協働	

まちづくりゼミナール 実施要領

- 1 目的** 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域福祉で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール方式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。
今回は、地域共生社会実現の一助として、企業が地域への社会貢献活動に参画することで、企業と地域にどのような相互利益が生まれるのか、また取り組みの中で発生してくると思われる地域との問題点についても考えます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員
実務者会議の役員 や指導者候補を各区2～3名ずつ 30名
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 4 研修会場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1-6）
- 5 研修日時** 令和2年9月17日（木）、10月15日（木）、11月12日（木）
いずれも10：00～12：00
- 6 テーマ** 「企業が行う地域への社会貢献活動によって生まれる相互利益について学ぶ」

7 研修内容

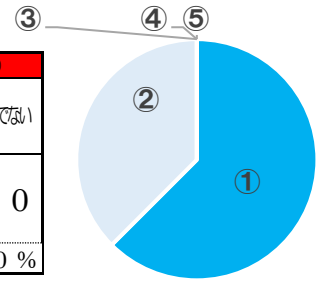
日程	内容	講師
一 目 目 二 目 目 三 目 目	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 久塚 純一 ■ 企業アンケート調査報告 ■ 企業の社会貢献活動事例発表 「企業の専門性を活かした社会貢献のあり方」 ・質疑応答 ・意見交換	北九州市社会福祉協議会 事例Ⅰ 株式会社 サンレー 総合研究所 所長 関野 弘 事例Ⅱ 西鉄観光バス株式会社 総務部 総務課 主任 古賀 友也 事例Ⅲ 株式会社 ポーラ YOU ショップ 副所長 小林 大介
	■ 企業の社会貢献活動事例発表 「地域との関わりを大切にした 社会貢献のあり方」 ・質疑応答 ・意見交換	事例Ⅳ 株式会社 タカギ 総務部 総務課 係長 前田 和徳 西村 遼 事例Ⅴ 株式会社 志道工務店 代表取締役社長 藤井 武樹 事例Ⅵ 株式会社 井筒屋 総務部 CSR・ESG 担当マネージャー 中尾 裕
	■ 過去2回の振り返り ■ 意見交換 「企業と協働することでこんなことをしたい こんなことができる」	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	35人 8・27	18人 51.4%	82人	—才		3日	6日

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		全くその通り	どちらかと言うと その通り	どちらとも言えない	どちらかと言うと そうでもない	全くそうでもない
	18件 100.0%	満足 できたか?	10 55.6%	6 33.3%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業との連携に興味があったので情報を頂けたこの機会はありがたかった。 ■ アイディアを頂いた。自分が何ができるか考えるきっかけになった。 ■ 地元の企業が地域貢献に積極的に取り組む事例が理解できた。 ■ 企業の発展と同時に地元への還元のために色々と行動していて感心した。 ■ 各企業が色々と特性を活かしての活動が勉強になった。センターとももっと何か一緒に取り組みができればと思った。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 先進的に社会貢献活動を行っている企業の事例発表は、具体的で参考になり、また、今後の活動のモチベーション向上になったと感じた。普段、接点のない企業との交流の場は、連携作りのきっかけにもなるので、今回の研修体系は継続していきたい。
--------------------	---

■ 研修風景



令和2年度 企業の社会貢献活動セミナー 実施要領

企業としてSDGsにどう取り組むか

- 1 趣 旨** 本セミナーでは、SDGsの角度から社会貢献活動に取り組んでみようと考えている、あるいは、さらに取り組みを進めたいと考えている企業の皆さまを対象に、地域や社会の課題に対して企業が培ってきた知識、経験、ネットワークなどを活かして、アプローチし、収益と社会貢献活動をバランス良く両立させるというソーシャルビジネスの手法について学びます。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講者** ZOOMの操作確認が各自事前出来る方
- 4 研修形式** ZOOMを使用したオンラインセミナー（事前申込制）
- 5 日程・内容** 令和3年2月26日（金）13：30～15：00

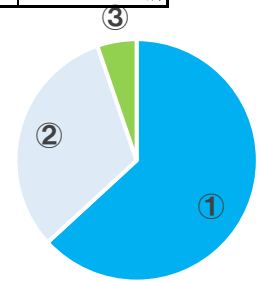
時間	内 容	講 師 等
13：00～	受 付	
13：30～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13：35～ 14：55	講 義 「企業としてSDGsに どう取り組むか」 質 疑 応 答	公立大学法人 北九州市立大学 地域創生学群 教 授 眞鍋 和博
15：00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	30 人	22 人	22 人	— 才		延 1 日	延 2 時間
	18・12	73.3 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	① 非常に 有意義だ	② どちらか と 言う と 有意義だ	③ どちら とも 言 え ない	④ あまり 参 考 に な ら ない	⑤ 全く 参 考 に な ら ない
	19 件	満足 できたか?	12	6	1	0	0
	86.4 %		63.2 %	31.6 %	5.2 %	0 %	0 %



主な意見	■ SDGs の具体的な取り組みを考える上で、アプローチの考え方や姿勢など非常に参考になった。
	■ 課題解決するためには企業や個人の視点だけでなく大きな視点が必要だと感じた。またその大きな視点と個々の活動を結びつける必要性を感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、初めて Zoom でのオンラインセミナーを実施したが、企業の方は、オンライン化の慣れもあるため比較的スムーズに研修を進めることができた。県外からの参加もあり、幅広く受講いただいた。
	■ 講義の内容は、取り組み事例を盛り込むなど、具体的な内容が欲しかったとの声もあったため、次年度活かしていきたい。

■ 研修風景

開 会		講義風景①	
講義風景②		講義風景③	

令和2年度 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 実施要領

社会福祉法人の地域における公益的な取組について

1 趣 旨 社会福祉法人の地域における公益的な取組が責務化された背景には、「既存の制度では十分に対応できない方々に対する支援の実施」や、「社会福祉法人の持つ専門性や機能を活かした支援の発揮」が地域に求められていることなどが挙げられます。

令和元年8月に北九州市社会福祉協議会と市内の各種別の社会福祉施設協議会と相互協力協定を締結しました。この協定に基づき、社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」の実施などを通じて、地域のさまざまな生活課題や福祉ニーズに総合的かつ専門的に対応していくことが期待されています。

今回は、社会福祉法人の「地域における公益的な取組」について考え、今後の実践につなげていくことを目的に開催します。

2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 受講対象 社会福祉法人の代表者・実務担当者、協力団体など

(Zoomを使ってオンライン受講できる方)

4 形 式 Zoomを使用したオンラインセミナー（事前申込制）

5 実施日時 令和3年3月18日（木）14：00～15：30

6 参加費 無料

7 研修内容

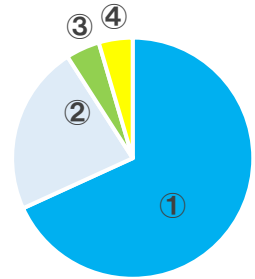
時 間	内 容	講 師 等
13：30～	受 付	
14：00～	開 会・オリエンテーション	
14：05～ 14：25	基調講演 「今こそ社会福祉法人が その力を発揮するとき」	北九州市保育所連盟 会 長 酒井 光義
14：25～ 14：55	実践発表 ① 高齢者施設の機能と 校(地)区社協活動との連携 ② 地域と連携した施設が 災害時にできること	①地域密着型介護老人福祉施設 サングリーンアネモス 統括部長 藤原 大樹 ②障害者支援施設北九州あゆみの里 統括主任 八谷 浩太郎
14：55～ 15：25	実践発表を踏まえてのコーディネーション	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 久塚 純一
～15：30	閉 会	

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	26 11・15 人	27 103.1 %	27 人	— 才		1 日	2 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも言 えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	23 件 85.2 %	満足 できたか?	16 69.6 %	5 21.7 %	1 4.3 %	1 4.3 %	0 0 %



主な意見	■ 施設として何を取り組まなければならないかメッセージを伝えていただき、分かりやすかった。
	■ 取り組みの根拠が示され、理解しやすかった。
	■ 社会福祉法人として社会貢献活動の必要性が再確認できた。
	■ 校区社協との関わりに行き詰まりを感じていたので参考になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 感染対策に特に気を遣う施設では、オンラインセミナーは有効だったと思われる。
	■ 先進的に地域活動を行っている施設の事例発表は、具体的で現実味があり、参考になったようだ。事例発表からのコーディネーションは、三者の内容を掘り下げ、振り返り効果もあり、好評だった。
	■ 手元に資料が欲しいとの声があったため、事前に調整後、送付し、必要者は各自出力できるように下準備を行いたい。

■ 研修風景

基 調 講 演		事 例 発 表	
コ ー デ ィ ネ ー シ ョ ン		講 義 風 景	

ボランティアとのかかわり方を学ぼう!!

～ いま求められるボランティアコーディネーションとは ～

- 1 趣 旨 社会福祉施設や市民センター、校(地)区社協等でボランティア受入担当者(ボランティアコーディネーター等)を対象に、施設利用者、ボランティア、担当者それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。
- 2 実施主体 北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場 ウェルとばた 12H・I 研修室(戸畑区汐井町 1-6)
※駐車場は限りがございます。公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者 社会福祉施設や病院、市民センター、校(地)区社協活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方【定員 40 名】
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料 700 円(研修日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日 程・内 容

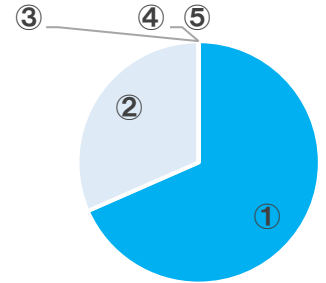
日 時		内 容	講 師
① 7 月 14 日 (火) 【中 止】	09 : 30	受 付	
	10 : 00	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	10 : 10 ～ 10 : 30	事業紹介 「ボランティア活動について」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	10 : 45 ～ 12 : 00	講義 「ボランティアコーディネートとは」	
	12 : 00	昼休み	
② 10 月 22 日 (木)	13 : 00 ～ 15 : 30	講 義・ワーク 「心を繋ぐボランティア ボランティアコーディネートに ついて考える」 意見交換会	医療法人社団 天翠会 経営企画室 介護アドバイザー 高橋 昌子
	15 : 30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	17 人	22 人	22 人	50.7 才			1 日	6 時間
	5・17	129.4 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	19 件 86.4 %	満足 できたか?	13 68.4%	6 31.6%	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ ボランティアをする側、受け入れる側、大切に考えていたい視点を今、一度自分の中で確認することができた。
	■ 経験・体験に基づく情熱的な話で大変参考になった。
	■ 色々な方向にアンテナを立てておく重要性を感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ ボランティア活動についての基調講義は、活動の意義や基礎が学べた。またホワイトボードを活用したワークは意見を共有でき、理解を深めることができた。
	■ 施設の方の講義は、事例を多く取り入れており、実践的で参考になったとの声を多くいただいた。

■ 研修風景

開会挨拶		事業紹介・講義	
ボランティアコーディネーターについて考える 心を繋ぐボランティア		修了証授与	

令和 2 年度 ボランティアコーディネート研修 実施要領

世界が取り組む「SDGs」

- 1 趣 旨** 今年のボランティアコーディネート研修は、SDGs(エスディーズ)について学びます。SDGs は、組織ごとに特性に応じた目標設定が可能のため、組織それぞれが取り組むことで、組織や地域、世界の発展に結びつけることが可能です。そのため、世界で取り組みが進められ、北九州市も SDGs 推進に向けた世界のモデル都市に選定されています。本研修は、SDGs に対する理解を深め、コーディネーションやコミュニティワークのスキルアップを目指すことを目的として開催します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会、北九州市、中間支援組織連絡会
- 3 受講者** 社会福祉施設や校（地）区社会福祉協議会・市民センター・中間支援組織等でボランティアの受入れを担う方
(Zoom を使ってオンライン受講できる方)
- 4 研修形式** Zoom を使用したオンラインセミナー（事前申込制）
- 5 受講料** 700 円(事前に郵送にてお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。)
- 6 日程・内容**

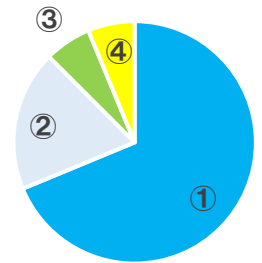
日 時	内 容	講 師	
令和 3 年 3 月 10 日 (水)	13 : 30	受 付	
	14 : 00	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	14 : 05 ~ 14 : 35	講義 SDGs と豊かな未来社会に向けて	北九州市立大学 キャリアセンター 学生支援担当部長 木村 潤
	14 : 35 ~ 15 : 05	「つながる世界について考える」 グループワーク① グループ内検討、発表	
	15 : 05 ~ 15 : 35	「今、私にできる事を考える」 グループワーク② グループ内検討、発表	
	15 : 35 ~ 15 : 55	「私の一言宣言」 振返り・質疑応答	
	16 : 00	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	17 人	16 人	16 人	— 才			1 日	2 時間
	4・13	94.1 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足できた	どちらかと言 うと満足できた	どちらとも 言えない	あまり満足 できなかった	不満だった
	16 件	満足 できたか?	11	3	1	1	0
	100.0 %		68.8 %	18.8 %	6.2 %	6.2 %	0 %



主な意見	■ SDGs は、生活のいたるところに関わる課題なので、勉強になった。
	■ 自分の知らないことを知る機会となった。
	■ 一人一人の少しずつの意識で未来を変えていくことができると思えた。
	■ 色んな職種や環境の人の話を聞くことができ、新たな視野で考える事ができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 新型コロナウイルス感染症防止の観点から、Zoomでのオンラインセミナーを実施した。ブレイクアウトルーム機能を使用した分科会では、他職との意見交換ができ、考えの視野が広がったようで、有意義だった。
	■ Zoomの活用方法も増えたので、研修に合わせて使い分けていきたい。
	■ コーディネーションに直結する内容が少し少なかったように思えたため、次年度は、受講対象者とテーマの関連性、研修の効果を考えていきたい。

■ 研修風景

講義風景①		講義風景②	
グループワーク①		グループワーク②	

社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター研修課
(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093(881)6321

FAX 093(881)6306

ホームページ <http://www.kitaa-shakyo.or.jp/index.php?ld=830>